

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【国語】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称	東書
学年別の教科書番号	1年 002-72	2年 002-82	3年 002-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための教材の工夫 巻頭の「領域別教材一覧」では、単元ごとの学習内容と身に付けたい言葉の力が示されている。巻末の「言葉の力」一覧では、領域・学年ごとに系統的に身に付けたい言葉の力などが捉えられるようになっている。また、資料編の「思考のヒント」では、基本的な思考の方法が紹介されている。</p> <p>②知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むための教材の工夫 巻頭には、学年ごとに学習のテーマが示されている。「てびき」では、目標や振り返りまでの学習活動が、単元ごとに示されるとともに、学習のテーマとの関連が記載されている。巻末の資料の冒頭にはテーマを振り返り、身に付けた力を生かし、思考・判断・表現するための視点が示され、学びが深められるようにしている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための教材の工夫 「学びを支える言葉の力」では、詳しい解説や練習問題などが掲載されている。資料編では、本編と関連する発展的な教材や、本編を学習する際に参考となる資料が掲載されている。また第3学年では「発展」として「古典の文法」の説明が示されている。</p> <p>④言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成するための教材の工夫 現代社会に対応した「九つのテーマ」が設定され、各教材の終末に「未来」として関連するテーマが示されている。「未来への扉」の単元では、テーマに沿った複数の文章や資料を関連付けながら読み、考えを深める活動が紹介されている。全学年で「情報と論理の学び」の教材が取り上げられている。</p> <p>⑤我が国と郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための教材の工夫 第1学年では古典の学習の導入として、「浦島太郎」の物語の変遷が取り上げられている。第2学年では「『平家物語』と古典芸能」、第1・3学年では、様々な古典作品とその中の言葉が紹介されている。現代にも生きている伝統的な言語文化の理解が深まるように工夫されている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等 「日本語探検」では、様々な場面が設定され、キャラクターたちの会話を通して、</p>		

言葉の特徴や使い方、その変遷に考えがつながるように記載されている。巻末には、二次元コード内の主な内容が一覧で示されており、効果的に学習に取り組めるように、文法ゲームなどが取り上げられている。各領域ごとに、左上が色分けされており、学びのつながりが分かりやすくなる工夫がされている。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【国語】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	15	発行者の略称	三省堂
学年別の教科書番号	1年 015-72	2年 015-82	3年 015-92

観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための教材の工夫 巻頭の「領域教材一覧」では、領域ごとに身に付けたい力と言語活動・教材名が示され、「思考の方法」では基本的な思考方法が系統的に紹介されている。巻末では、読むことの観点を示す「読み方を学ぼう」や言葉の力を高めるための「学習用語辞典」、「語彙の広がり」が掲載されている。</p> <p>②知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むための教材の工夫 「学びの道しるべ」では、単元ごとに目標や振り返りまでの学習活動や学びを活用するための課題、語彙と教材との関連などが示されている。また、「コラム」では、教材に関連する事柄や活用につなげるための文章、日常生活との関連を示す事柄が取り上げられている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための教材の工夫 「学びを広げる」では、発展的な学習活動が具体的に示されている。「私の読書体験」として作家の読書体験を紹介し、読書の効果が示されている。また、巻頭の資料編「読書の広場」では、複数の教材が補充的な学習の進め方とともに取り上げられている。</p> <p>④言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成するための教材の工夫 全学年に「情報を関連づける」の単元が設けられており、複数の資料を関連付けながら、言語能力を総合的に活用する学習活動が設定され、参考資料は二次元コードで紹介されている。「生かそう」では、学習内容を日常生活の中で生かすための視点が示されている。</p> <p>⑤我が国と郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための教材の工夫 第3学年の「俳句の世界」では、著名人の句を添削する形で、言葉の選び方や取り合わせについて掲載されている。資料編の「日本文学名作集」では、「和歌・俳句」「物語・随筆」に分けて、教科書に出てくる作品や関連する作品が各学年に対応する形で紹介されている。</p>
----------------------------	---

(2) 構成・配列及び分量，使用上の便宜等

全学年において、表紙は人間社会の風景と動物を描いた奥行きのある立体的な絵が採用されている。また本編と資料編が、横から見ても分かるように色分けされている。本編の終わりには、中学生にとって有名な曲の歌詞が「歌の言葉」として、イメージ絵とともに掲載されている。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【国語】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
学年別の教科書番号	1年 017-72	2年 017-82	3年 017-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための教材の工夫 巻頭の「言葉の地図」では、教材ごとに付けたい力とそれに対応する言語活動例が示されている。「学びナビ」で、教材ごとに学習の観点が示され、巻末には一覧が掲載されている。また巻末には、言語の世界を広げるための「理解に役立つ言葉」や「表現に役立つ言葉」の一覧が示されている。</p> <p>②知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むための教材の工夫 単元ごとに「目標・学びナビ・本文・みちしるべ・振り返り」と学習活動の過程が示されている。また「学びを生かす」という項目があり、他教科や日常生活との関連が紹介されている。また巻末には「言葉の自習室」が設けられ、資料ごとに考える視点や目標が示されている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための教材の工夫 「学びのチャレンジ」では、考える力や目的に応じて判断する力、表現する力を高めるための発展問題が掲載されている。また補充的な学習のために二次元コートが示されている。「読書への招待」で芥川龍之介などの文豪の作品が取り上げられ、作品解説や詳しい資料が示されている。</p> <p>④言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成するための教材の工夫 「総合(SDGs)」の単元では、現代社会における課題に関連した複数の資料が「問い」とともに示され、話し合う活動や自分の考えを意見文として書く活動が紹介されている。情報活用能力を育成する教材として、「情報・メディアと表現」が取り上げられている。</p> <p>⑤我が国と郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための教材の工夫 第1学年の「方言と共通語」では、本編で全国各地の方言による「桃太郎」が掲載され、解説編で成り立ち・歴史・使い分けについて資料を提示しながら紹介されている。効果的に古典学習を進めるために、第1学年の「昔話と古典」で、古典から生まれた昔話が紹介されている。</p>		

(2) 構成・配列及び分量，使用上の便宜等

各教材の前に、何を学ぶかを明確にする学習活動のヒントが示されている。「広がる本の世界」として、様々な分野の読書案内が各学年で本編に8～9回、資料編には作品の一部が掲載されている。巻末には「ふるさとを巡る」として、文学にゆかりのある風景写真が紹介されている。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【国語】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	38	発行者の略称	光村
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	038-72	38-82	38-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための教材の工夫 巻頭の「学習の見通しをもとう」では、教材ごとに付けたい力と、重点的に学習する内容が色を分けて明示されている。また、「思考の地図」では、基本的な思考方法が紹介されている。巻末では、読むことの観点を示す「学びのカギ」や言葉の世界を広げるための「語彙ブック」が掲載されている。</p> <p>②知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むための教材の工夫 「学びの扉」では、目標から振り返りまでの学習活動が、単元ごとに示されている。巻末の「発想を広げる」では、発想を広げていくための手がかりとなるテーマ例が掲載されている。また、「話す・聞く」「書く」ことの単元では、日常生活や創作表現につながる言語活動例が示され、実態に合わせて取り組めるようにしている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための教材の工夫 各教材に振り返りの中に「つなぐ」という視点があり、自主的な学習への生かし方が具体的に示されている。「読書案内」では、自ら書き込んで紹介するための「私のおすすめ」が設けられている。「国語の力試し」では、領域別の活用問題が掲載されるとともに、発展的な学習に活用できる二次元コードが示されている。</p> <p>④言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成するための教材の工夫 「情報×SDGs」の単元では、現代的な諸課題に関する資料が題材として取り上げられており、情報活用能力を育成するための活動が設定されている。巻末の資料編では、話す活動や各活動を行う際の手がかりとなる例がSDGsと関連付けながら豊富に紹介されている。</p> <p>⑤我が国と郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための教材の工夫 古典作品は、全学年で年表を示し、時代背景が明確になるように掲載されている。また、第1学年では「古典の世界」で、学習の見通しをもつために、3年間で学ぶ古典作品をまとめた年表や紹介文が取り上げられ、第3学年では「つながる古典」で、各作品の関連性を表した図が示され、3年間の学びを振り返ることができる工夫がみられる。</p>		

(2) 構成・配列及び分量，使用上の便宜等

巻末の「ICT活用のヒント」により、学習の中でICT機器を活用すると効果的な場面が具体的に紹介され、各教材との関連性が示されている。学年ごとで、単元の始めのページには、「動き・色・時」を表す言葉が、象徴的な写真とともに取り上げられている。関連する教材や資料の掲載ページが分かりやすく示され、学びのつながりを明確化している。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【書写】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称	東書
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	002-72	002-72	002-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識や技能を習得するための教材の工夫 学年ごとに書写テストが設けられており、演習形式で既習事項を確認できる。行書の字句を指でなぞる欄があり、直感的に書画の特徴を抑えることができる。</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」の実現のための教材の工夫 目標に迫るための導入として、示された用語を使って感じたことや考えをたことを説明する問いや、学習内容がどのように生きるかなど話し合うための問いが設定されている。単元の目標に対して「振り返ろう」が記載されており、「生活に広げよう」という単元ではどの学年も学んだことを話し合う振り返りが記載されている。運筆動画が繰り返し再生可能であり、生徒が個々の課題に応じて主体的に目標を設定し練習することができる。</p> <p>③社会生活で生きてはたらく力の育成のための教材の工夫 中学生のキャラクターが生活場面での書画について発言する挿絵が多くあり、共感的に学習内容の必要性を理解する効果がある。「生活に広げよう」の単元は具体的な生活場面を挙げた題材設定となっている。</p> <p>④文字文化への理解のための教材の工夫 ・伝統的な用具の製法や書風の比較が紹介されている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①系統的な構成・配列であり、分量・配列が適切であるか。 一年で知識技能を「身につける」、二年で書体の特徴や場面に応じて「使い分ける」、三年で身の回りの文字の使い方を考えたり味わったりして「使いこなす」ための単元が整理されている。</p> <p>②凡例・資料などの内容や分量が適切であり、使いやすい製本となっているか。 写真が多く興味を引くレイアウトである。長半紙の書き初めの手本は織り込みで巻末に全学年まとめられており、第三学年の手本の裏には高校書道の写真が掲載されている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【書写】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	15	発行者の略称	三省堂
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	015-72	015-72	015-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識や技能を習得するための教材の工夫 書体の特徴を簡潔な言葉で説明し、他の文字ではどの部分に特徴が表れているか知識を利用して字句を認識することができるよう見開きで整理されている。巻末に学力テストの問題を取り上げており、問題演習の形式で三年間の学習内容を復習できる。</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」の実現のための教材の工夫 学んだことを生かして字句を書き直す欄と、学んだことを自分の言葉で表現して書きこむ欄が単元ごとにあり、ポイントを押さえることができる。</p> <p>③社会生活で生きてはたらく力の育成のための教材の工夫 場面ごとの適切な書体を選んで書く必要性を意識させるよう、具体的な事例とともに書き込みができる仕様になっている。</p> <p>④文字文化への理解のための教材の工夫 文字の歴史的な変遷や筆記具の進化が豊富な資料とともに示されており、興味をもって文字文化にふれることができる。デジタル文字が普及した今日における手書きの魅力を効果的に感じられるよう、資料が配置されている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①系統的な構成・配列であり、分量・配列が適切であるか。 扉絵や字句には国語の教科書と同じものが起用されており、興味を引きやすい題材となっている。補充教材、解説動画、解説資料の二次元コードが巻末に一覧でまとめられている。</p> <p>②凡例・資料などの内容や分量が適切であり、使いやすい製本となっているか。 表紙の素材がマットな質感であり、感覚過敏の生徒への光の刺激が少ない。同系色でシンプルなまとめかたであり、要点が明確に視覚化されている。 長半紙の書き初めの手本は織り込みで巻末に全学年まとめられており、第三学年の裏面には既習事項がまとめられている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【書写】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	017-72	017-72	017-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識や技能を習得するための教材の工夫 楷書の字形や筆順、行書の特徴、仮名の調和などの基本的な学習事項の定着を図るための「学習を生かして書く」が単元末に設定されている。巻末に三年間の学習を確認する「書写テスト」が設定されている。</p> <p>②主体的・対話的で深い学びの実現のための教材の工夫 試し書き後、見本と比較したり提示された問いについて考えたりし、その気づきを生かして再度書くという活動の流れが示されている。3年間の学習を生かして課題を選択して取り組む単元が設定されている。各単元に運筆動画を見たり、各種ワークシートをダウンロードしたりするための二次元コードが示されている。</p> <p>③社会生活で生きて働く力の育成のための教材の工夫 観察レポートを書くためのキーワードを紐づけしたメモやキーワードごとにまとめて分類するメモの仕方が例示されている。考えをまとめる際に、上位概念、下位概念を意識して整理することが示されている。毛筆と硬筆を常に関連させ、毛筆の学習成果が確実に硬筆へとつながる構成となっている。</p> <p>④文字文化への理解のための教材の工夫 コラムでは、活字の歴史や特徴、文字を書く目的、短冊と色紙、日本建築と「書」との調和について解説されている。「連綿」の解説とそれを鑑賞し書く活動が紹介されている。エアメールの書き方が例示されている。</p>		
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①系統的な構成・配列であり、分量・配分が適切であるか。 何をどのように学び、どんな力を身に付けるのか、一本の木のイラストで巻頭に1ページにまとめられている。漢字を構成する各種点画を学ぶための言葉がバランスよく配置されている。</p> <p>②凡例・資料等の内容や分量が適切であり、使いやすい製本となっているか。 紙面が大きく手本の文字と主題等が線で隔離している。書き初めの手本は学年ごとに配置されている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【書写】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	38	発行者の略称	光村
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	038-72	038-72	038-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識や技能を習得するための教材の工夫 学習のポイントがわかる「学びのカギ」が設けられ、他の文字を書く時にも普遍的に活用できる基礎・基本、原則・原理が明確に示されている。定着を図る書き方練習用冊子「書写ブック」が付属している。</p> <p>②主体的・対話的で深い学びの実現のための教材の工夫 考えよう(原理・原則の発見)→確かめよう(書いて原理・原則の確認)→生かそう(日常の文字に生かす・振り返り)という共通の流れが示され、見通しを持って学習できる構成となっている。文字に関わる参考資料や、字形、配列、運筆方法を動画で確認するための二次元コードが示されている。書いている姿勢を端末で確かめたり、書いた文字を撮影し課題を見つけたりする活動が例示されている。</p> <p>③社会生活で生きて働く力の育成のための教材の工夫 メール文、プレゼンテーション資料、デジタル付箋の書き方についてのポイントが示されている。書写で学んだ書き方を活用してノートやポスター、看板などの文字を書く活動が例示されている。</p> <p>④文字文化への理解のための教材の工夫 俳句や和歌、「枕草子」を行書で書いて味わう活動が例示されている。書写の学習の中で意識できるSDGsの取り組みが例示されている。文字の配置を工夫して冊子を作成する活動や、ユニバーサルデザインフォントについて考えを深めるための事例が紹介されている。</p>		
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①系統的な構成・配列であり、分量・配分が適切であるか。 教材を見る際に、見開きページの視覚の動線が一定方向になるよう配置されている。1教材1事項で、学習のねらいが焦点化されている。</p> <p>②凡例・資料等の内容や分量が適切であり、使いやすい製本となっているか。 「書写ブック」が取り外し可能で、はがき用紙を切り取って使用できる。毛筆の手本が見開き縦向きに示されている。巻末に横向き仕様で書き初めマスターブックが配置され、書き初め手本は全学年最後のページに配置されている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【社会】種目【地理】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称	東書
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	002-72	002-72	-
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎基本の確実な定着を図るための内容の充実や創意工夫 1時間の学習の流れが見えるように見開きで導入→学習課題→本文→チェック＆トライの流れで構造化している。また、「スキル・アップ」や「もっと解説」コーナーを設け、知識を確実に定着できるよう工夫している。</p> <p>②知識技能を活用し、自ら考え判断し表現する力をはぐくむ言語活動や情報活用能力を育成する活動の充実 単元末のまとめを評価の観点で整理し、思考ツール等を用いて学習をまとめる活動を設定し、表現する活動を充実させている。また、小集団での参加型学習「みんなでチャレンジ」を設け、対話を通して多様な意見に触れながら深い学びを実現できるようにしている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される創意工夫 様々な地域の写真を豊富に掲載し、学習意欲を高めるように工夫している。また、二次元コードからアクセスできるコンテンツを充実させ、単元の導入で利用できる映像資料や家庭学習でも活用できる活動ツールなどが豊富に準備されている。</p> <p>④他分野、他教科、領域との関連及び探究的な活動の充実 「リンクマーク」が各所にあり、歴史や公民分野、他教科との関連が示され、「D」マークが付いている所は、その分野や他教科の教科書の紙面を確認することができるようになっている。節の終末に課題についてまとめる「探究課題を解決しよう」の活動が設定されている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①構成・配列及び分量 授業時数は第1編に13時間、第2編に40時間、第3編に57時間が配当され、標準授業時数の115時間のうち110時間を活用する配当である。</p> <p>②使用上の便宜等 インターネットを活用した学習のための二次元コードが付されている。章ごとにページ番号の帯の色が統一され、帯下に学習中の州名や地方名が記されている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 地理 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	017-72	017-72	-
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎基本の確実な定着を図るための内容の充実や創意工夫 学習課題と対応した「確認」があり、基礎的事項の確認・整理ができる。章や説などの末尾にある「学習のまとめと表現」のページでは、主な地名や学習してきた言葉の確認と知識に関わる整理ができる。また、「地理の技」のコーナーでは、幅広い学習内容の定着ができるようになっている。</p> <p>②知識技能を活用し、自ら考え判断し表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動の充実 見開きページに、学習内容を表現する活動を示した「表現」が設定されている。学習の流れに即して「THINK!」や「Q」のコーナーが設けられ、資料を読み取って考察する学習活動ができるようになっている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される創意工夫 資料の読み取りのヒントなどが「LOOK!」という解説文で紹介され、興味関心の広がる学習コラム「地理の窓」が設けられて発展的な内容が示されている。また、各章の最初に「まなびリンク」を設け学習に役立つ情報がQRコードから得られるようになっている。</p> <p>④他分野、他教科、領域との関連及び探求的な活動の充実 本文の右下に地理の他のページとの関連や他分野との関連を示している。小学校での基礎的な学習を振り返り、スムーズな接続が図られるようになっている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①構成・配列及び分量 授業数は第1編に9時間、第2編に36時間、第3編に58時間が配当され、標準授業時数115時間のうち、103時間を活用する配当である。</p> <p>②使用上の便宜等 カラーユニバーサルデザインに全対応した紙面で、ユニバーサルデザイン・フォントを採用している。紙面を見開き単位とし、本文と資料をフォントやポイントの違いにより明確に区分したレイアウトでデザインすることで、視認性が高まっている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【社会】種目【地理】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	46	発行者の略称	帝国
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	046-72	046-72	-
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎基本の確実な定着を図るための内容の充実や創意工夫 章や節の終末に、語句の意味の確認や地図や文章の空欄補充などを行う「学んだことを確かめ、章の学習内容を振り返ろう」等が設定されている。地図帳の使い方や、グラフや地図の読み取り方、作成の仕方などを学ぶ「技能をみがく」のコーナーが設けられている。</p> <p>②知識技能を活用し、自ら考え判断し表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動の充実 見開きページに、自分の言葉で学習内容を説明する活動を示した「説明しよう」が設けられている。章や節の終末に、学習した内容を図表にまとめ、情報に関連付けて地域の特徴などを考察する活動や、地域の課題について話し合う活動などが示されている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な活動が促される創育工夫 見開きページが、導入資料→学習課題→本文資料→内容を振り返る課題という流れで構成されている。章ごとに「章の問い」、節ごとに「学習を見通そう」が設定されている。コラムの「地理プラス」では、学習内容に関連した事例が紹介されている。また、授業以外においても自主的に学習できるように、随所に二次元コードが付されている。</p> <p>④他分野、他教科、領域との関連及び探求的な活動の充実 小学校での学習や他分野・他教科と関連のある題材に「小学校・歴史・公民・他教科の関連」や「小・歴・公の関連アイコン」を示し、既習事項を踏まえて、物事を多面的・多角的にとらえる足がかりを設けている。また、単元を貫く「章・節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、単元の最後の「学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、課題解決的な学習ができる構成になっている。</p>		
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①構成・配列及び分量 授業時数は、第1部に8時間、第2部に41時間、第3部に56時間、第4部に</p>		

5時間が配当され、標準授業時数115時間のうち、108時間を活用する配当で、予備時間が5時間設けられている。

②使用上の便宜等

基礎的な用語や概念の理解を優先的に学べるようになっている。また、図版に背景色や囲み線をつけるなどして図版と本文を区別しやすくしたり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりしている。資料には色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色や模様が使用され、カラーユニバーサルデザインの配慮がなされている。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【社会】種目【地理】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	116	発行者の略称	日文
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	116-72	116-72	-
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎基本の確実な定着を図るための内容の充実や創意工夫 地図や文章の空欄補充による振り返りができるように章末や節末に「自分の考えをまとめるために必要な知識を確認しよう」が設定されている。グラフや地図の読み取り方、作成の仕方などを学ぶ「スキルUP」のコーナーが設けられている。</p> <p>②知識技能を活用し、自ら考え判断し表現する力をはぐくむ言語活動や情報活用能力を育成する活動の充実 見開きページに、学習内容を踏まえて自分の言葉で説明する「表現」が設けられている。章末のまとめには、表や思考ツールを活用して情報をまとめたり、クラスで意見交換したりする活動を取り上げた「学びあい」が設けられている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される創意工夫 見開きページが、導入資料→学習課題→「確認」と「表現」という流れで構成され、学習課題に対応した「見方・考え方」の例が示されている。「トライ」では学習内容を深める作業が示されている。地理+αでは課題の理解を深める内容が紹介されている。</p> <p>④他分野、他教科、領域との関連及び探求的な活動の充実 「学習のはじめに」や本文、脚注の「連携コーナー」において小学校社会科における地理的分野に関わる内容や、歴史的分野や公民的分野が取り上げられている。道徳科等、他教科と関連ある教材も多数掲載されている。</p>		
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①構成・配列及び分量 3編7章構成とし、学習内容の構造化と焦点化が図られている。109時間の授業時数で学習が完結できるようになっている。</p> <p>②使用上の便宜等 地図・グラフ等の図版類は、カラーバリアフリーに配慮した配合にするほか、形や模様、線の種類など、色以外の情報でも識別できるように配慮している。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 地図 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称	東書
学年別の	1 年	2 年	3 年
教科書番号	002-72	002-72	002-72
観 点 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎基本の確実な定着を図るための内容の充実や創意工夫</p> <p>P4の「この地図帳の地図記号」では、地図に関わる記号が分類して示され、索引の使い方や土地の高さの表し方が説明されている。P5・6の「この地図帳の活用方法」では一般図と数量や割合の分布、人や物の動きなどのテーマ図の特徴が示され、具体例を挙げながら活用方法が説明されている。世界の一般図では、国名や主要な都市名、自然地名などの基本的な情報をとりあげ、日本の一般図では、全ての市町村名や主要な自然地名を掲載し、さくいんでは全国の市町村名を探せるようになっている。</p> <p>②地図活用を促すための工夫</p> <p>SDGsなどの現代の諸課題の理解を促す特集ページが設けられており、特に環境問題や資源・エネルギー問題、人口問題、貧困問題、地域紛争や難民問題について扱う特集ページで深く学ぶことができるようになっている。また、ミツバチのキャラクターから地図を読み取る課題が取り上げられ、その解答例が二次元コードで閲覧できるように構成されている。学習内容に関連するWebページや、白地図などが閲覧できるリンク集へアクセスできるように構成されている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①構成・配列及び分量</p> <p>地図をはじめ、グラフ、写真などの資料が多く掲載されている。世界、日本、統計、索引で構成されている。巻末には統計5ページ、索引9ページが配分されている。(全176ページ)</p> <p>②使用上の便宜など</p> <p>すべての生徒の色覚特性に対応するデザインおよびユニバーサルデザインフォントが採用されている。視覚的効果が高いA4判を用い、資料を豊富に掲載したり、写真や文字を鮮明にしたりすることで見やすい紙面構成になっている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【社会】種目【地図】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	46	発行者の略称	帝国
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	046-72	046-72	046-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎基本の確実な定着を図るための内容の充実や創意工夫 P4の「この地図帳の凡例」では、地図に関わる記号が分類して示されている。P5～P7の「地図帳の使い方」では、縮尺や地図の要素など地図を読み取る際の基礎的な知識と、索引や統計等が説明されている。また、地図の種類や、数量・割合の分布・人や物の動き等の資料図の読み取り方、地図の活用方法が具体例を示しながら説明されている。</p> <p>②地図の活用をうながす工夫 環境問題等の今日的な課題をはじめ、持続可能な開発目標（SDGs）の観点に基づいた資料が豊富に掲載されており、資料図には、環境や防災マークが示されている。また、地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野でも幅広く活用できる資料が盛り込まれていたり、随所に修学旅行や校外学習で活用できる資料が掲載されていたりするなど、主体的に地図帳を活用できるように配慮されている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①構成・配列及び分量 使い方・資料、世界、日本、統計、索引で構成されている。巻末には、統計9ページ、索引11ページが配分されている。世界の州は、原則として「一般図」→「鳥瞰図（ながめてみよう）」→「資料図」、日本の地方は、原則として「一般図（地方別地図）」→「一般図（拡大図）」→「資料図」という配列で、各州・各地方の特色を具体的に読み取れる資料が掲載されている。</p> <p>②使用上の便宜等 地図タイトルやページ番号、インデックスは位置を原則固定し、レイアウトの統一（構造化）が図られている。可読性の高いユニバーサルデザインフォントが使用されていたり、色覚特性のある生徒でも地図やグラフが読み取りやすいようにカラーユニバーサルデザインに対応した色彩表現となっていたりする。また、巻末の統計については、国や地域の詳しい数値や情報を確認することができるリンク集へアクセスするQRコードが掲載されている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 歴史 】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称	東書
学年別の教科書番号	1 年	2 年	3 年
教科書番号	002-72	002-72	002-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①歴史的事象の取り扱いの工夫・特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スキル・アップ」のコーナーで、技能習得の活動が設定され、小單元ごとの「チェック&トライ」で、基本的な学習内容を確認する課題が示されている。 ・章扉で時代の特色を表すイラストや資料、人物中心の年表が掲載されている。 <p>②生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もっと知りたい！」や、小單元で取り扱う主な人物紹介などでは、補充的資料となるコラムが掲載されている。小單元ごとに学習を広げるデジタルコンテンツにアクセスするためのQRコードが示されている。 <p>③思考力・判断力・表現力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期、推移、比較、関連、現在といった様々な見方・考え方を働かせる視点が、「虫めがねマーク」とともに示されている。 ・各單元で取り扱う歴史的事象に関連した資料について思考する活動が、「えんぴつマーク」によって示されている。 ・各章の探究課題や各節の探究のステップ（学習課題）、小單元ごとの学習課題が設定され、各章末の「学習をふり返り、まとめよう」で思考ツールや年表などを用いて、まとめの活動を行うよう構成されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①単元の構成・配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1章では年表を扱い、歴史の見方・考え方や技能の習得を学習する。 ・そのあと「古代～現代」と6部を学習する構成となっている。 <p>②表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文ページは見開き2ページで、上半分と左右5分の2程度が資料やコラムに割かれており、写真や図が大きく載せられている。奇数ページの右端に年表スケール、見開き2ページの各下部には、チェック&トライとして、学習で取り組む課題が示されている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 歴史 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
学年別の教科書番号	1年 017-72	2年 017-72	3年 017-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①歴史的事象の取り扱いの工夫・特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めのタイトルが、学習内容を象徴するような言葉になっている。 ・小学校で習った人物には写真にマークが付けられている。 <p>②生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初に大きな写真や絵などがあり、学習内容に興味をもたせるような主題名、問いが吹き出して書かれている。 <p>③思考力・判断力・表現力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小单元ごとに、「学習課題」が示され、まとめ活動として「確認!」と「表現!」が設けられている。 ・小单元ごとに「THINK!」や「TRY!」が設定されており、様々な視点から歴史を捉える活動が設定されている。 ・章末の「学習のまとめと表現」では、「HOP!」、「STEP!」、「JUMP!」のように段階的にグループ活動が提示されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①単元の構成・配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1章「歴史のとらえ方・調べ方」で、小学校で学習したことを振り返りながら、歴史への関心を高められるようにしている。 ・そのあと、「原始・古代～現代」と6部を学習する構成になっている。 <p>②表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習で、各章の扉に専用ウェブサイトアクセスできるQRコード・アドレスが表示されている。 ・見開き2ページで、上3分の1と、左右3分の1程度が資料やコラムに割かれている。タイトルをはさむ形で時代スケールと学習課題が表示されている。最後に「確認」「表現」と2段階の問いで学習をまとめるようになっている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 歴史 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	46	発行者の略称	帝国
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	046-72	046-72	046-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①歴史的事象の取り扱いの工夫・特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章末にある単元のまとめを設定した「学習を振り返ろう」では、各時代の出来事を順に並べて整理したり、地図で場所を確認したりする学習が設定されている。また、思考ツールや話し合い活動が行えるものになっている。 <p>②生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「タイムトラベル」では、その時代の様子がイラストで分かるようになっており、各単元における学習の見通しを立てることができるものになっている。また、イラストの中からそれぞれの場面を探す問題が設定されている。 ・大判の資料が豊富にあり、特に「イラスト世界地図」では、日本の歴史を世界の中に位置づけて見ることができるため、当時の社会への興味・関心を高めることができる。 <p>③思考力・判断力・表現力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小单元ごとに、「学習課題」が示され、まとめ活動として「確認しよう」と「説明しよう」が設けられている。 ・「アクティブ歴史」では、時代の特色やその背景を考察するパフォーマンス課題が設定されている。「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」の見取りを行うことができる。 		
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①単元構成・配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界とのつながりを意識した、多面的・多角的に歴史を考察する視点を学習する。そのあと、「原始～現代」と6部を学習する構成になっている。 <p>②表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料やコラムに加え、奇数ページに学習課題があり、偶数ページに年表インデックス、最後に「確認」「説明」と2段階の問いで学習をまとめられるようにしている。 ・小学校での学習や他分野・他教科と関連のある題材が分かるようになっている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【社会】種目【歴史】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	81	発行者の略称	山川
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	081-72	081-72	081-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①歴史的事象の取り扱いの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードとなる重要語句が欄外に示されている。 ・細かい事象にも触れられている。 <p>②生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域からのアプローチ」で7都市を取り上げ、地域を通しての歴史学習を紹介している。 ・地図とイラストで各地域の世界がまとめられており、世界の歴史と日本の歴史を重ねて見えるようになっている。 <p>③思考力・判断力・表現力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の導入の発問や、ステップアップの課題、図版に添えられている発問など、各所に発問や課題が記されている。 ・「歴史を考えよう」では、課題や発問が用意されており、グループ活動を掲示している。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①単元の構成・配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1章の「歴史との対話」では、年代の表し方や身近な地域の調査方法を学習する。 ・そのあと、「原始・古代～現代」と6部を学習する構成となっている。 <p>②表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の文字は小さく、文章量が多い。 ・ユニバーサルデザインが取り入れられている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 歴史 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	116	発行者の略称	日文
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	116-72	116-72	116-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①歴史的事象の取り扱いの工夫・特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に主題名ごとに「テーマ別索引」を設け、課題別に調べられるようにしている。 ・小单元ごとにサブタイトルが付いており、学ぶ内容が端的に示されている。 <p>②生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その時代をイメージできる大判の資料を最初に掲載している。 ・毎ページにQRコードがあり、デジタルコンテンツが充実している。 ・小学校で学習したことが確認できる連携コーナーが設けられている。 <p>③思考力・判断力・表現力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小单元ごとに「学習課題」「見方・考え方」「確認」が示されており、見通しをもって学習に取り組めるように工夫されている。また「深めよう」では、学習課題を深めるための問いが設けられている。 ・「チャレンジ歴史」では、複数の資料から歴史上の出来事や時代の変化について、学ぶ課題が提示されている。また、学習の見通しをもたせるポートフォリオがQRコードで示されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①単元の構成・配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1章「私たちと歴史」では、小学校で学習したことを振り返りながら、歴史への関心を高められるようにしている。 ・そのあと、「原始・古代～現代」と6部を学習する構成となっており、その後に未来を構成する単元が入っている。 <p>②表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文ページは見開き2ページで、上3分の1と左右3分の1程度が資料やコラムに割かれている。奇数ページに学習課題につながる「見方・考え方」が、偶数ページの右に時代・世紀のスケール、理解を深めるための問い、理解を確かめるための問いが示されている。 ・デジタル資料が見られるものに「デジタルマーク」が付いている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種目【 歴史 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	227	発行者の略称	育鵬社
学年別の教科書番号	1年 227-72	2年 227-72	3年 227-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①歴史的事象の取扱いの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章に「このころ世界は」を設け、世界の歴史を背景に、日本の歴史をとらえられるようにしている。 <p>②生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の初めの「鳥の目で見ると」で時代を大観させ、さらに、「虫の目で見ると」で大判の資料を掲示し、資料の読み取りから、時代に興味・関心がもてるようにしている。 <p>③思考力・判断力・表現力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小單元ごとに「学習課題」が示され、各時間のまとめ活動として、表現活動を求める活動が設けられている。 ・「歴史ズームイン」では、複数の資料から歴史上のできごとや時代の変化について、学ぶ課題が掲示され、「主体的・対話的で深い学び」を促している。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①単元の構成・配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・序章では、小学校で学習したことをふり振り返りながら、歴史への関心を高められるようにしている。 ・そのあと、「原始・古代～現代」と6部を学習する構成となっている。 <p>②表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文ページは見開き2ページで、上3分の1と、左右3分の1程度が資料やコラムに割かれている。 ・ユニバーサルデザインが取り入れられている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 歴史 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	225	発行者の略称	自由社
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	225-72	225-72	225-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①歴史的事象の取り扱いの工夫・特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 各章の章末には、「調べ学習のページ」「復習問題のページ」「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」の4つの記事が配置され、基礎的な知識の定着だけでなく、作文や意見交換会など多彩な学習課もが設定されており、まとめの活動を行うことができる。 <p>②生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「人物クローズアップ」や「歴史の言葉」、「知っ得ポイント！」などでは、学習内容に係る補充資料として、用意されている。 各単元のはじめには、小学校で学習した人物をもとにした「登場人物紹介コーナー」が設定されており、生徒の学習意欲を高めるものになっている。 <p>③思考力・判断力・表現力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 小單元ごとに、「学習課題」が示され、まとめ活動として「チャレンジ」が設けられており、学習内容を確認することができる。 章末にある「時代の特徴を考えるページ」では、各時代の特徴を捉える活動として「歴史用語ミニ辞典」の作成や「時代比較の問題」、「人物比較の問題」、「ひとこと作文」が用意されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①単元構成・配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界とのつながりを意識した、多面的・多角的に歴史を考察する視点を学習する。そのあと、「原始～現代」と6部を学習する構成になっている。 <p>②表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料やコラムに加え、奇数ページに学習課題や年表インデックス、最後に「チャレンジ」で学習をまとめられるよう構成されている。 各単元で取り上げる歴史的事象に関する見方・考え方のヒントとなる資料が用意されている。また、学習課題の解決につながる問いが吹き出して示されている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 歴史 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	229	発行者の略称	学び舎
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	229-72	229-72	229-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①歴史的事象の取り扱いの工夫・特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史を楽しく学ぼう」のページでは、小学校で学習した人物や歴史的事象をカードにまとめ、学習内容を確認する活動が設定されている。 <p>②生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フォーカス」では、単元で取り扱う歴史的事象や人物を紹介するコラムが掲載されている。 <p>③思考力・判断力・表現力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小単元で取り扱う歴史的事象の学習内容について考察することができるような表現で小単元のタイトルの主題が示され、歴史的事象が副題として示されている。 ・各章末の「学習のまとめ」には、グループやクラスの発表、生徒自らが他の生徒に学習内容に関する問題を作る活動が設定されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①単元の構成・配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史への案内」では年代の表し方や、地域の調べ学習の方法を学ぶようになっている。 ・そのあと「古代～現代」と6部を学習する構成となっている。 <p>②表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4版で紙面が広い。 ・巻末に10ページの年表がつけられている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 歴史 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	236	発行者の略称	令書
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	236-73	236-73	236-73
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①歴史的事象の取り扱いの工夫・特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文に加えて欄外に注を設け、さまざまなデータを用いるなど多角的な視点から記述し、歴史的事象の深化を図っている。 ・文献資料を多く掲載している。 <p>②生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「歴史学習の幅を広げよう」の章を設け、歴史小説や歴史漫画を読むときの注意を掲載している。 ・コラムが充実しており、読み物としての興味を引くようにしている。 <p>③思考力・判断力・表現力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初に課題、最後に「考えよう」の欄を設けている。 ・「新聞にまとめてみよう」や「ディベートしてみよう」、「ディスカッションしてみよう」のなど項目を設けている <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①単元の構成・配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原始～現代までバランスよく配分している。 <p>②表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦書き二段組みの構成で、より多くの内容を記載している。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 公民 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称	東書
学年別の	1 年	2 年	3 年
教科書番号	—	—	002-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①公民的事象の取り扱いの工夫、特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章の導入に必ず「導入の活動」が設定されており、生徒にとって各章でどのようなことを学ぶのかが分かりやすくなっている。 ・各章ごとに単元を貫く問いが設定されており、学習者が現代社会の諸課題を問いによって課題解決できるようになっている。 <p>②生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを示し、学習者が「チェック&トライ」や「探究のステップ」などで復習ができるように工夫されている。 ・「もっと知りたい！」に発展的内容が示されている。「18歳へのステップ」には、成人として主体的に社会に参画できる意識を高める工夫がなされている。 <p>③「思考力、判断力、表現力」を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章末の「深めよう」などでは、実社会に関する題材を取り上げ、自分の考えをまとめたり、表現したりする活動が設定されている。 ・様々な思考ツールが示されており、思考を整理しやすい工夫がなされている。 ・対話的な学習を促す「みんなでチャレンジ」のコーナーが複数設けられている。題材は中学生にとって身近なものが多く、話し合い活動がしやすい。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①単元の構成と配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「探究のステップ」として単元をつらぬく問いが設定されており、学習者も見通しをもって学習ができるようになっている。 ・章のまとめに「探究のステップ」に対する振り返りのページが設定されている。評価の観点が明示され、指導者としても評価がしやすくなっている。 <p>②表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UDフォントを使用しており、字形を判別しやすく、学習者が読み間違えをしにくいような工夫がなされている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 公民 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
学年別の教科書番号	1 年	2 年	3 年
教科書番号	—	—	017-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 公民的事象の取り扱いの工夫・特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き左側中段に学習課題があり、右下にある基礎的・基本的な内容を確認するための「確認」がある。 ・小学校の学習や他教科との関連が左側下段に記されている。 ・章末で基礎的・基本的な内容を振り返るための「HOP」が設定されている。 <p>② 生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のはじめに」のページで、各節の学習課題や学習の見通しが示されている。 ・章末の「JUMP」では、各章の学習と関連した「未来のためにできること」が発展課題として提示されている。 ・「学習のまとめと表現」のページでは、家庭で復習できる課題が設定されている。 <p>③ 「思考力・表現力・判断力」を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きの右下に「表現」があり、学習課題に関する問いを説明したり、意見を交換し合ったりする活動を設けている。 ・考える視点を活用する問いには、「見方×考え方」のマークが示されている。 ・章末の「STEP1」で学習前の考えを振り返り、「STEP2」で思考ツールを用いて考えをまとめる活動が設定されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 単元の構成と配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会26ページ、憲法44ページ、政治46ページ、経済40ページ、社会保障24ページ、国際社会36ページ、終章8ページとなっている。 ・見開きで1時間の授業内容が設定され、導入資料→何について追及していくかを示した「学習課題」→本文→学習の振り返りと「確認」「表現」で構成されている。 <p>② 表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に役立つ様々な情報を活用できる二次元コードが示されている。 ・社会保障制度とこれからの日本経済という部分が独立した章となっている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 公民 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	46	発行者の略称	帝国
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	—	—	046-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①公民的事象の取り扱いの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学習内容、地理、歴史、他教科との関連をキーワードで示し、既習事項をふまえて、多面的・多角的にとらえられるようになっている。 ・用語の解説が記されており、二次元コードで確認できるようになっている。 <p>②生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストから単元の学習全体を概観できるようになっている。また、各本文ページの導入資料において、学習と直結する実社会の事象を取り上げている。 ・各見開きページに節の問いが書かれており、単元を通して見通しをもって学習に取り組める。 <p>③「思考力・判断力・表現力」を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きの最後にある「説明しよう」で学習課題に関する問いに対して説明する課題が設定されている。 ・巻頭にて思考ツールの解説を行い、振り返りのページで思考ツールを使って、考えをまとめたり、考えの変化を振り返ったりできるように工夫されている。 ・見開きページに「対話」という項目があり、毎時間、対話的な学習に取り組めるようになっている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①単元の構成と配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会28ページ、憲法と政治86ページ、経済66ページ、国際社会34ページ課題探究学習10ページとなっている。 <p>②表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・背景色や囲み線をつけるなどして図版と本文を区別しやすくしている。 ・文字はユニバーサルデザインフォント、配色を識別しやすい色使いとなるよう配慮している。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 公民 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	116	発行者の略称	日文
学年別の教科書番号	1年	2年	3年
教科書番号	—	—	116-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 公民的事象の取り扱いの工夫・特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「明日に向かって」や「情報スキルアップ」で社会参画や社会の課題について考えることができるようになっている。 ・ページ右下部に公民的事象に関連する歴史や地理の設問を設けており、振り返りながら学習を深める工夫がされている。 <p>② 生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のはじめに」では導入にイラストを取り入れて、学習内容のイメージをつかませ、学習の見通しをもたせている。デジタルコンテンツを活用できる二次元コードが見開きにあり、「確認小テスト」や「資料」、「外部リンクからの動画」が付されている。「公民+α」では現代の課題についてのコラムを掲載している。 <p>③ 「思考力、判断力、表現力」を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きページの右下にある「表現」や「アクティビティ」では学習内容の理解を深める活動が設定されている。章末の「まとめとふり返し」では、語句の確認や新聞のニュースを用いて見方・考え方の学習を深めさせる工夫がされている。「学び合い」では生徒どうしの対話を促し、協働的な学びを行うための工夫がされている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 単元の構成と配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きページの構成は左上に本文ページの導入になる「導入資料」、「学習課題」があり、課題解決の手がかりになる「見方・考え方」の例が示されている。右下に学習課題に対応した「確認」「表現」で学習を確かめるための問いを設けており、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図っている。 <p>② 表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの色を使って図版を豊富に載せている。左下欄外に節の問いが記されており、学習の見通しをもたせる工夫がされている。全ての重要語句にルビを付けている。点字が施されており、生徒自身が触れることができる。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 公民 】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	227	発行者の略称	育鵬社
学年別の教科書番号	1 年	2 年	3 年
教科書番号	—	—	227-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 公民的事象の取り扱いの工夫、特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の冒頭で、「なぜ『公民』を学ぶのか」と題して、地理・歴史・公民の概念図を掲載しながら、公民を学ぶ意義について説明している。 少子高齢化、多文化共生、グローバル化、情報化、伝統文化の継承などの現代日本の課題について、最新の話題や資料を掲載しながら詳しく扱っている。 ウクライナ問題や紙ストローなどの近年話題に上る事例を多数扱っている。 <p>② 生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や図などの資料が豊富で、最新のものが反映されている。 各章の冒頭見開きページに「どうして学ぶの?」というコラムを設け、学習の動機づけを行っている。 <p>③ 「思考力、表現力、判断力」を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 見通しをもった問題解決学習をねらい、章の学習を貫く問いや節の学習を貫く問いを設定し、学習内容の構造化を図っている。 1時間ごとの学習課題を設定し、見開きページの終わりに学習内容の定着を図る場として「確認」「探究」の設問を用意している。 各章末に「これから」「学習のまとめ」のページがあり、学習課題についてまとめ、表現する場面が設定されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 単元の構成と配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元で、「課題をつかむ」「課題について調べる」「課題についてまとめる・表現する」という問題解決型の学習を意識した構成がとられている。 <p>② 表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次や各章の冒頭に二次元コードが用意され、ウェブサイトを活用できる。 フォントやカラーは、ユニバーサルデザインに配慮したものが使用されている。 各見開きに節の課題を示している。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種 目【 公民 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	225	発行者の略称	自由社
学年別の教科書番号	1年	2年	3年
教科書番号	—	—	225-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①公民的事象の取り扱いの工夫、特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個人と社会生活」の章では、家族愛や愛郷心・愛国心を育むための内容が2ページ分あてられている。 ・我が国の領域に関する課題、領土問題、海をめぐる国益の衝突について5ページを当てている。 ・憲法の改正問題について見開き1ページで具体的に内容が示されている。 <p>②生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話的な学習活動を促す「やってみよう」のコーナーが設けられている。題材については、中学生にとって身近なものが多く、活動しやすい。 ・「ミニ知識」のコーナーが設定されており、生徒がより詳細に知識を学ぶことができるように工夫されている。 <p>③「思考力、判断力、表現力」を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末に「アクティブに深めよう」のコーナーがあり、グループで対話を行い、課題解決ができるような工夫がなされている。 ・見開き1ページで学習課題が設定されており、問いを中心に学習者が学ぶことができるようになっている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①単元の構成と配分の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の最後に、授業でおさえるべき重要な確認事項をまとめている。 <p>②表記・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページの上部に図や写真を配置することで、学習者が迷うことなく学習に取り組める工夫がなされている。 ・重要語句がゴシックであり、重要語句に注目しやすい工夫がなされている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【数学】種目【数学】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称	東書
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	002-72	002-82	002-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る内容が充実していること まとまった「問」が与えられたときは、「クイックチェック」で類題を解きなおしたり確認したりできる。端末で表示できる。「基本問題」には、学び直しができるように章内で関連する問題の見出しページ、問題番号が示されている。</p> <p>②知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む内容が充実していること 「深い学び」のコーナーでは、問題をつかみ、見通しをたてて問題を解決できるよう、側注に問題解決の過程が段階的に示されている。「学びをふり返ろう」では、見方や考え方の視点が示されている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される内容が充実していること 「問」の側注には、巻末の「補充の問題」の関連ページ、問題番号が示されており、各章の学習内容を繰り返し練習するための問題が掲載されている。「章の問題B」には、「活用の問題」が発展的な学習として取り上げられており、デジタルコンテンツの「ヒントと解答」では、考え方が詳しく示されている。</p> <p>④言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成する活動の内容が充実していること 巻末の「数学の自由研究」には、他教科やSDGs、日常と関連した問題が取り上げられており、探究的な活動内容が示されている。「MATH CONNECT」では、身近にある数学が紹介されている。「数学の目でふり返ろう」では、学年を越えて働かせることのできる「見方・考え方」が具体例で紹介されている。</p> <p>⑤我が国と郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容が充実していること 「数学のまど」や問題の挿絵に、水落遺跡の水時計や青海波等、日本古来の建築物や伝統模様が取り上げられている。また、伊能忠敬の業績が紹介されるとともに、他教科との関連からエッセイのだまし絵が紹介されている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>		

	<p>各節において、考えさせたり振り返らせたりしたい内容を示したうえで、「Q」に関連する具体的な問題を取り上げる構成になっている。巻末の「学びのベース」には、学び直しができるように前学年までの関連する既習事項のまとめや問題が設けられている。「♥」マークは必ず身につけてほしい問題、「D」マークは反復練習が必要な問題としてわかりやすく構成されている。</p>
--	--

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【数学】種目【数学】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	4	発行者の略称	大日本
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	702	802	902
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る内容が充実していること 活動・例・例題を適切に配置し、学ぶことが明確になっている。また、新しく学んだ事項は、「たしかめ」と「Q」で学習する構成になっている。豊富な問題で練習し、確かめ、振り返ることができるようになっている。</p> <p>②知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む内容が充実していること 章末に「活用・探究」を設け、学習内容を活用し、数学の世界をさらに探究する問題を通して、思考力を育むことができるようにしている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される内容が充実していること 巻頭に「この教科書の使い方」のページを設けて教科書の構成や使われているマークの意味を詳しく示し、生徒の主体的な学習を促している。また、学習のめあてが提示されているので、予習としての家庭での自主的な学習を促している。</p> <p>④言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成する活動の内容が充実していること 各章の「利用」で、問題発見・解決の流れに沿って取り組む課題を設けている。解決のしかたの見通しをもち、論理的に考え、問題解決できるようにしている。</p> <p>⑤我が国と郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容が充実していること 白川郷の合掌造りや高崎だるまなど、伝統的な建築物や特産品を写真で紹介している。人権への配慮で、登場人物の男女や外国にルーツをもつ生徒など様々に構成されている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等 「巻頭」では学習を始める前に、「本編」ではメインとなる学習を、「巻末」では個別最適な学びの3部構成できている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【数学】種目【数学】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	11	発行者の略称	学図
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	011-72	011-82	011-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る内容が充実していること 生徒がつまずきやすい内容を扱う際は、段階的に理解できるようにしたり、「二次元コード」で丁寧な説明を加えたりして、知識・技能を身につけられるように考えられている。すべての節に「確かめよう」を設け、基本的な知識・技能を本文の対応する箇所に戻って確認できるよう、関連する問題を扱ったページと問題番号や見出しの表記がある。</p> <p>②知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む内容が充実していること 問題を解決していく中で新たな問題を発見し、学習が次々につながっていき、深い学びにつながるように工夫されている。また、各章の利用の問題では、対話形式で問題をつかみ、考えを整理していく流れになっている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される内容が充実していること 巻末に、補充的な問題を集めた「〇年の復習」、章末には、学びをふり返ることができるコーナーがあり、自己チェックするための観点が設けられている。「計算力を高めよう」、「確かめよう」では、どこで学んだ学習であるかを明確にすることで、常にふりかえって学習に立ち戻れるように工夫されている。</p> <p>④言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成する活動の内容が充実していること 数学的活動のページでは、話し合いをベースに、生徒が主体的に問題発見から課題解決、さらに新たな問題を発見する過程を協働的に行えるようにしている。「深めよう」では、身近な事象から学習を深める問題が示されている。また、巻末の「さらなる数学へ」では、SDGsの17項目のうち、自分たちにできることがないか調べて取り組む問題が示されている。</p> <p>⑤我が国と郷土の伝統文化について理科を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容が充実していること 生徒の視野を、地域社会、日本、世界へと広げていけるように配慮し、葛飾北</p>		

齋の絵が掲載されるなど、日本の伝統や文化を理解しようとする態度が養うことができるように配慮されている。巻頭の「数学見つけた!!」には、日本や世界の伝統的な建築物が紹介されている。「数学の力」には、伝統的なものづくり等の内容が示されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

生徒の思考の流れを大切にし、生徒自身の疑問で学習をつないでいくことで、連続的で系統性のある学習の流れになっている。生徒の興味・関心に応じて、家庭学習で扱える内容が設定されている。章のはじめに既習事項についての「ふりかえり」があり、学習内容のつながりを意識した構成になっている。各章末にある「まとめの問題」では、基本→応用→活用、さらに発展の「深めよう」の順に分けられ各自の理解度や興味・関心に合わせて学習が進められるようになっている。また、各学年の巻末には「プログラミングを体験してみよう」が掲載されている。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 数学 】種 目【 数学 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	017-71	017-82	017-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る内容が充実していること 学習内容をふり返り、確実に身につけるように「基本の問題」や「学習のまとめ」、章の問題「たしかめよう」が掲載されている。繰り返し問題に取り組むことができるように、類題が数多く示されている。</p> <p>②知識及び技能を利用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む内容が充実していること 「学んだことを活用しよう」は、章で学んだ内容を活用して、身のまわりの問題が示されている。「数学の広場」では、問題づくりなど自ら考え、表現する問題が紹介されている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される内容が充実していること 巻末に「補充学習」が掲載されており、既習内容の類題が示されている。「数学の広場」では、発展的な問題が示されており、実社会や他教科とのつながりが記されている。</p> <p>④言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成する活動の内容が充実していること 効果的に学習に取り組めるように「まなびリンク」として、二次元コードを掲載している。「学びのプロセス」は自ら問題を発見・解決する手順が示されている。</p> <p>⑤我が国と郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容が充実していること 古代バビロニアの数学の問題が書かれた粘土板や、宇宙空間の構造物にも応用されているミウラ折り、青海波や七宝などの日本の伝統模様が紹介されている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等 基本的な問題に加え、「数学しごと人」や「レポートの書き方」など興味や学習につながる内容も掲載されている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 数学 】種 目【 数学 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	104	発行者の略称	数研
学年別の	1 年	2 年	3 年
教科書番号	104-73	104-83	104-93
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る内容が充実していること 用語の説明が丁寧、ヒントやポイントを会話形式で示しており、視覚的にわかりやすいレイアウトになっている。</p> <p>②知識及び技能を活用し、自ら考え判断し、表現する力を育む内容が充実していること 「やってみよう」「調べてみよう」「考えよう」が設定されており知識・技能を組み合わせたり多面的に表現したりする力を問う内容が出題されている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される内容が充実していること 章末に補充的な学習ができる「問題A」が準備されている。章末や巻末に発展的な学習ができる「問題B」「チャレンジ問題」が出題されている。個の実態に応じた学習が家庭でも取り組むことのできる設定になっている。</p> <p>④言語能力や情報活用能力、問題発見・問題解決を育成する活動の内容が充実していること 「学んだことを活用しよう」では、身の回りの事象を各章の内容を活用して解く問題が取り上げられている。「Link探究」には、学んだ内容を活用して問題を解決する課題があり、ワークシートや考え方が提示されている。</p> <p>⑤我が国と郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容が充実していること 日本独自の「和算」や数学書物「塵却記」、古代ギリシャのユークリッドやピタゴラスなど、日本や世界の伝統や偉人にまつわる題材やコラムが掲載されている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等 各節において、考えさせたり振り返らせたりしたい内容を示した上で「Q」に関連する具体的な内容が必ず掲載された構成になっている。また、章の導入には、興味関心をひく題材が紹介されている。さらに、巻末の「学びの自己評価」には、学習全体を通して自己の学びを客観的に振り返ることができるチェック欄が設けられている。目次は見やすく、色の統一感もある。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【数学】種目【数学】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	61	発行者の略称	啓林館
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	061-72	061-82	061-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る内容が充実していること 「例」や「問」の側注に、基本となる考え方や誤答例が掲載されている。学習の定着に向けての補充問題が二次元コードで示されている。章末問題の「学びをたしかめよう」では、学習した内容が身に付いているかを問いかける文言と関連するページ番号が示されている。</p> <p>②知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む内容が充実していること 「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」では、学んだことを表現し、他者と話しあう言語活動が設けられており、理解を深めたり学びを広げたりする活動が紹介されている。また、問題解決の過程が段階的に示されている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される内容が充実していること 巻末「数学広場」の「力をつけよう」には、学習した内容の補充的な問題や発展的な問題が掲載され、入試問題にもチャレンジできる。「学びをいかそう」では、学んだ内容を、身のまわり等で利用するための問題が取り上げられている。「例・例題・章末問題の解説動画」が表紙裏の二次元コードで示されており、自主的な学習に活用できる。</p> <p>④言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成する活動の内容が充実していること 大切な考え方を身に付けるために、「すでに学んだ形にする」や「条件をかえる」等の標識が示されている。また、新しい問題を見つけたり、問題を解決したりするときの手立てとして示されている。「〇〇の利用」では、問題を設定し、見通しを立てて解決することができ、過程を振り返って深められるように、「ステップ方式」が設けられている。</p> <p>⑤我が国と郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容が充実していること 日本の伝統的な模様である市松模様や麻の葉模様が紹介されている。タイヤの</p>		

設計や宇宙開発において円周率が使われていることが取り上げられている。数学の偉人として、アルキメデスの業績について紹介されている。「数学ライブラリー」では、数学的に考えることで見えてくる事柄などが紹介されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

教科書の各所に二次元コードが示されている。「ふりかえりCBT」では各章に関連する前学年までの既習事項がまとめられており、基本的な問題を確認できるように構成されている。節のとびらでは、新しい学習課題の理解を深められる情報が紹介されている。章末問題の「学びを身につけよう」では、解答・考え方・動画解説等、学習内容に関連するデジタルコンテンツが示されている。そのため、教科書のページが削減され軽くなっている。章末に「○章のあしあと」として、学習を振り返るための例文が示されている。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【数学】種目【数学】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	116	発行者の略称	日文
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	116-72	116-82	116-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る内容が充実していること 「例」や「問」の側注には、基本となる考え方や大切な見方・考え方が示されている。基本の定着のために節ごとに「基本の問題」が設けられており、学び直しができるように、章内の見出しとページ、問題番号が示されている。</p> <p>②知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む内容が充実していること 「学び合おう」では、自分で考え、話し合いを通して問題解決ができるように、段階的に示されている。巻末の「対話シート」には、問題解決に必要な情報の整理を促す内容と振り返りの記入欄が設けられている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される内容が充実していること 各章に「学びに向かう力を育てよう」があり、主体的に学習に取り組む態度を視点とした問題が設定されている。巻末の「補充問題」には、基本的な問題が掲載されており、章内のページ、関連する例や問題番号が示されている。章末の「とりくんでみよう」や巻末の「活用の問題」には、自主的な学習を促す発展的な問題が掲載されている。また、学習のめあてが提示されているので、予習としての家庭での自主的な学習を促している。</p> <p>④言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成する活動の内容が充実していること 巻末にはSDGsと関連のある数学や、数学を仕事に生かしている人の話等が紹介されている。「数学研究室」では、他教科や生活と関連した内容や、高校数学につながる探究的な内容が取り上げられている。</p> <p>⑤我が国と郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容が充実していること 伊能忠敬の測量やユークリッドの幾何学の業績について紹介されており、現代数学とのつながりについて解説されている。また、記号「∞」の起源について記述されており、ドイツの数学者ライプニッツの功績が紹介されている。</p>		

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

目次に各章で学習する内容と、関連する前学年までの既習事項が記載されている。各章の最初に「次の章を学ぶ前に」があり、関連する前学年までの既習事項がまとめられており、基本的な問題を確認できるように構成されている。巻末の索引に英語表記がある。各学年の巻末には「プログラミングを体験してみよう」が掲載されている。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【理科】種目【理科】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称	東書
学年別の教科書番号	1年	2年	3年
教科書番号	002-72	002-82	002-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 図表・文章表現が適切で、理解しやすい基礎・基本の確実な定着を図るための工夫がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真資料が大きく見やすく、イラストが親しみやすい。 ・学習内容を活用する場面が適切に配置され、章末チェックが基本的な語句にしばって設定されている。 <p>② 観察・実験が適切で、その結果を自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験の流れがステップを踏んで順に示され、結果の見方や考察のポイントが記載されている。 ・「流れに沿ってじっくり探究」では、「問題発見」「課題」「仮説」「構想」「実験」「分析解釈」「検討改善」の流れが示されている。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習、家庭での自主的な学習が促される創意工夫がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験手順や資料動画、練習問題などのQRコードが項目付きで示され、とても多くある。 ・各単元に学習前後を比較する問いが示され、単元末には用語の整理、基本・活用問題がある。 <p>④ 日常生活や既習事項との繋がりや他教科との関連が意識されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会と学習内容との関連が見えるコラムや、小学校で学んだことを想起できるように、単元の初めや本文に「これまでに学んだこと」が配置されている。 ・社会や数学、技術・家庭、保健体育、道徳など、他教科で学習する理科と関連の深い内容を「(教科名)で学ぶこと」として示し、学習内容のより深い理解につながるようにしている。 <p>⑤ 日本や世界の環境保全や発展に繋がる意識が育つような内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsに関連する学習内容のページにその内容のコラムがあり、繋がりが意識できるよう配慮されている。 		

- ・各単元の最後にある、その単元の学習内容を生かした環境保全や科学技術についての記載が、繋がりを意識した内容となっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ① 学習しやすいように小単元が系列的に配列され、全体の分量及びその配列が指導上適切であるか。
 - ・1年は生物→物質→光音力→火山地震地層、2年は化学変化→生物の体→気象→電流、3年はイオン→運動→天体→環境となっており、生徒の科学的概念の形成に配慮した配列になっている。
 - ・総時間数の9割程度で指導できるような時数配分になっており、個々の興味・関心や発想などいかして、課題を解決していける時間も確保されている。
- ② 生徒が使用するにあたり、配慮がなされているか。
 - ・写真やイラストがダイナミックに掲載されていて、生徒の思考や学習意欲を喚起しやすくなっている。
 - ・豊富なデジタルコンテンツが用意されていて、一人ひとりのニーズや学習形態に応じて使用することができる。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【理科】種目【理科】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	4	発行者の略称	大日本
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	702	802	902
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 図表・文章表現が適切で、理解しやすい基礎・基本の確実な定着を図るための工夫がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の各章での学習内容の概要があり、次ページから見開いて既習事項が写真付きで説明されている。 写真や図が大きく見やすく、様々な現象を写真で紹介している。 <p>② 観察・実験が適切で、その結果を自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察・実験では「着眼点」からの流れや「結果の整理」「結果から考えよう」の手順と「結果の例」が示されている。 「やってみよう」では、課題解決につながる補助的な観察・実験が紹介されている。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習、家庭での自主的な学習が促される創意工夫がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末に、探究の進め方やノートやレポートの書き方、学習と関連する自由研究がある。観察実験の操作に関するQRコードがある。 各単元末に、関連する探究活動、用語の整理、基本・読解力問題がある。 <p>④ 日常生活や既習事項との繋がりや他教科との関連が意識されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「くらしの中の理科」で日常生活と学習との関連を多数紹介し、生徒が興味関心をもって学習にとり組めるようにしている。 「つながる×Science Pass」で単元の内容が他分野・教科への繋がりを示し「ことば」で、関連する語句の説明や英語での表記を示している。 <p>⑤ 日本や世界の環境保全や発展に繋がる意識が育つような内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小単元の学習内容と、それに関わる環境問題や科学技術について、その繋がりや活用が分かるよう配慮されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 学習しやすいように、小単元が系列的に配列され、全体の分量及びその配列が指導上適切であるか</p>		

・各単元の冒頭に、既習内容と単元の内容が見開きで示されている。関連する既習内容が「思い出そう」で示されている。

1年：生物の分類⇒物質⇒物理⇒大地

2年：化学変化⇒生物のしくみ⇒電気⇒気象

3年：運動⇒遺伝⇒食物連鎖⇒イオン⇒天体⇒自然と人間

② 生徒が使用するにあたり、配慮がなされているか。

・使いやすいB5版サイズで、探究の過程に沿って整理されている。

・1年の本文や資料が2・3年よりも大きな字を用い、小学校とのギャップに配慮している。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【理科】種目【理科】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	11	発行者の略称	学図
学年別の教科書番号	1年	2年	3年
	011-72	011-82	011-92

観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 図表・文章表現が適切で、理解しやすい基礎・基本の確実な定着を図るための工夫がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や図が大きく見やすく、めしべなどの経過観察の写真がある。 ・各単元に、学習前後の課題とCan-Do List、細やかな課題、学習後のまとめ(用語・問題)がある。 <p>② 観察・実験が適切で、その結果を自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な現象からの「気づき」「課題」「仮説」「計画」「方法」「結果」「考察」と一連の流れが記述されている。 ・観察・実験ごとに、探究を深めるための[理路整然]が記述され、具体的な思考のヒントが示されている。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習、家庭での自主的な学習が促される創意工夫がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web化した紙面へつながるQRコードが各ページにあり、巻末に資料や過去問(全国調査・高校入試)等が豊富にある。 ・随所にQRコードが掲載されていて「ミライ教科書学図+」にアクセスできる。 <p>④ 日常生活や既習事項との繋がりや他教科との関連が意識されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活が科学の知識と考え方によって成り立っている場面や、科学が社会に役立っている場面を具体的に紹介している。 ・学習内容との繋がりや学びの広がりを持てるよう、身近な教材を扱っている。 <p>⑤ 日本や世界の環境保全や発展に繋がる意識が育つような内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年を通してSDGsに関する記載が充実しており、単元の学習内容とも紐づけられている。 ・3年の自然・科学技術と人間の単元では、最新の情勢が分かりやすくまとめられている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 学習しやすいように、小単元が系列的に配列され、全体の分量及びその配列が</p>
----------------------------	---

指導上適切であるか。

- ・探究の前提となる知識を習得するためのページと、探究活動のページが順序だてて配列されており、知識に関するページも簡潔にまとめられている。
 - ・1年…生物→物理→化学→地学
 - ・2年…化学→生物→物理→地学
 - ・3年…物理→生物→化学→地学→自然・科学技術
- ② 生徒が使用するにあたり、配慮がなされているか。
- ・ページ上部に関連する内容や補充資料のページ数が記載されており、单元横断的な理解を深める工夫がされている。
 - ・小单元ごとに課題が設定されており、本時の目標を常に意識できる。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【理科】種目【理科】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
学年別の教科書番号	1年 017-72	2年 017-82	3年 017-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 図表・文章表現が適切で、理解しやすい基礎・基本の確実な定着を図るための工夫がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の冒頭に「学んでいくこと」が示され、各章での学習内容を把握できる。 ・写真や図が大きく見やすく、重要語句がオレンジ色でハイライトされている。 <p>② 観察・実験が適切で、その結果を自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問から課題を設定したり、課題から仮説や計画を立てたりする手順が示され、考察のポイントも明記されている。 ・各学年で、基礎の「レポートの書き方」が構造的に示されている。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習、家庭での自主的な学習が促される創意工夫がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料動画に加えて、家庭学習にも使えるフラッシュカードや参考リンク等のQRコードがある。 ・単元の各章に学習前後の課題があり、単元末に用語のまとめと問題（基本・活用）がある。 <p>④ 日常生活や既習事項との繋がりや他教科との関連が意識されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科の学習内容について、日常で見られる具体的な事物・現象と関連づけながら捉えられるようにしている。 ・「学習前の私」「学習後の私」で日常と関連づけながら、学習者自身の科学的な概念の変容を認識させる場面を設け、自らの学習を調整しながら学習を深められるように工夫している。 <p>⑤ 日本や世界の環境保全や発展に繋がる意識が育つような内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コラムに内容と関連するSDGsマークがある。 ・「SDGsずかん」などのwebコンテンツで、意識づけしやすいよう工夫がされている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 学習しやすいように、小単元が系列的に配列され、全体の分量及びその配列が指導上適切であるか。</p>		

- ・ゆとりをもって探究的な学習が進められるように、年間配当時数の9割の授業数で指導できる内容で構成したり、季節や気候の影響が大きい観察・実験の時期に配慮したりしながら、全体的に適切に構成している。
- ・単元の記載の順は、次の通りである。
 - 1年:生物→物質→大地→光・音・力
 - 2年:化学→生物の体→気象→電流
 - 3年イオン→遺伝→天体→運動→食物連鎖・自然と人間
- ② 生徒が使用するにあたり、配慮されているか。
 - ・AB判を縦に3mm拡大した判型を採用し、資料写真を大きく掲載したり、レイアウトにゆとりをもたせたりすることで、子どもの興味を高めている。
 - ・表紙には、水をはじき、細菌などが増えるのを抑える特殊加工をしている。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【理科】種目【理科】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	61	発行者の略称	啓林館
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	061-72	061-82	061-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 図表・文章表現が適切で、理解しやすい基礎・基本の確実な定着を図るための工夫がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や図が大きく見やすい。 ・章末や単元末等で学習内容の定着を確認する問題が設定されている。 <p>② 観察・実験が適切で、その結果を自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「探Q実験」では「課題」「仮説」「計画」「結果」「考察」の流れが示され、観察・実験後に「探究のふり返し」が設定されている。 ・「考えてみよう」「発表してみよう」「Action」などの発表、活用場面が設定されている。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習、家庭での自主的な学習が促される創意工夫がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察実験を補足する動画・資料、そして単元内の振り返りシートや探QシートのQRコードがある。巻末に探究活動に役立つ資料や印刷された探Qシートがある。 ・各単元に学習前後の考えを問う課題、用語のまとめや力だめし問題、探究の課程を考察する「探Qクラブ」がある。 <p>④ 日常生活や既習事項との繋がりが他教科との関連が意識されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイナミックな自然の写真や日常生活とつながる写真・資料を多く掲載している。 ・小学校理科の内容や既習事項を確認できる「つながる学び」が章導入や本文中にあり、STEAM教育に関連したコラムも多数掲載されている。 <p>⑤ 日本や世界の環境保全や発展に繋がる意識が育つような内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年を通して巻末にSDGsに関する記載があり、関連する既習事項と紐づけられるよう工夫がされている。 ・各単元の最後にある、その単元の学習内容を生かした環境保全や科学技術についての記載が、繋がりを意識した内容となっている。 		

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

① 学習しやすいように、小単元が系列的に配列され、全体の分量及びその配列が指導上適切であるか。

・3学年通して、生命→地球→物質→エネルギーの順で構成されている。

② 生徒が使用するにあたり、配慮がなされているか。

・QRコードでの解説が、丁寧にされている。

・イラストが豊富で、生徒の思考を促す工夫がされている。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【音楽】種目【音楽（一般・器楽）】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
学年別の教科書番号	1年 017-72 017-72	2年 017-83 017-72	3年 017-84 017-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎・基本の習得、主体的、対話的、創造的な活動のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習MAP」では、領域・分野ごとに表示され、それぞれの関係性が明示されている。また、共通事項を軸にした【学習の進め方】が記されているため、相互のつながりがわかりやすく示されている。 ・教材ごとに、学習目標、活動内容、新たに学習する用語などの記載があり、音楽的な見方・考え方を働かせながら学習できるポイントが例示されている。 ・巻末には、学年の内容に応じた学習資料や楽典が折り込みページで掲載されている。 ・「比べてみよう」「Active!」「音のスケッチ」などで、活動を通して知識及び技能の定着が図られている。また、進んで学び合うための活動例や交流しながら創作できるような活動例が示されている。 ・動画・音声・ワークシート・資料の区分がされた二次元コードが示されたデジタルコンテンツの「まなびリンク」によって、ICTを活用した個別最適な学びができる工夫がある。 <p>②我が国や他国の音楽文化について理解を深め、尊重する態度を育てるための内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の自然や四季の美しさを感じ取れる楽曲として設定されている歌唱共通教材が「日本の歌 みんなの歌」として示されている。 ・「Let's Try!」で唱歌を体験し、我が国の伝統音楽について、その良さを味わうことができるように工夫されている。 ・日本と他国の音楽を比較しながら、それぞれの音楽の特徴について学習できるよう構成されている。 <p>③音楽によって自らの学びを促す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権やアウトリーチなどに触れ、生活や社会と関わりの深い音楽により関心がもてるように工夫されている。 ・器楽の巻末には、リコーダー運指表やギターのコード表が折り込みページで 		

掲載されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

①教材の分量、配列及び内容、程度の配慮

- ・巻頭には、音楽家からの「With My Heart 音楽はメッセージ」や作曲家の自筆譜や解説が掲載されている。
- ・歌唱・創作・鑑賞教材の配分は適切で、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた資料やワークシートなどが程よく配置されている。また、同じ題材のものを続けて掲載し、比べやすくしている。

②レイアウト（楽譜、写真、挿絵、説明文）等の工夫

- ・判読性・視認性の高い配色とレイアウト（カラーユニバーサルデザイン）や文字（ユニバーサルデザインフォント）が使用され見やすく配慮されている。
- ・鑑賞教材の楽譜が色分けされ他の部分と比較しやすいような工夫がされている。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【音楽】種目【音楽（一般・器楽）】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	27	発行者の略称	教芸
学年別の教科書番号	1年 027-72 027-72	2年 027-83 027-72	3年 027-84 027-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎・基本の習得、主体的、対話的、創造的な活動のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間で学習する内容をまとめた「学びの地図」では、各領域にまとまり、教材と学習内容との関連が示されており、教材のねらいに応じて学習に取り組める工夫がされている。 ・教材ごとに、楽曲の紹介文、考えたいポイント、学習目標、活動文、音楽を形づくっている要素、用語や記号などがわかりやすく示されている。 ・巻末には、「音楽を形づくっている要素」や「音楽の約束」が各学年の学習内容に応じて掲載されている。 ・「学びのコンパス」では、主体的・対話的な活動を通して、知識及び技能の定着が図られるような学習活動が取り上げられ、生徒の思考が可視化できるワークシートなども掲載されている。 <p>②我が国や他国の音楽文化について理解を深め、尊重する態度を育てるための内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の自然や四季の美しさを感じ取れる楽曲として設定されている歌唱共通教材が「心の歌」として示されている。また、「歌い継ごう日本の歌」として楽曲が生まれた背景とともに紹介されている。 ・「日本音楽入門」では、日本の音楽の歴史や特徴が示されている。また、我が国の様々な伝統音楽や伝統芸能、そして郷土の民謡、祭りなどを取り上げて、音楽文化に親しむことができるように工夫されている。 <p>③音楽によって自らの学びを促す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で学んだことを振り返りながら、みんなに薦めたい1曲のよさを紹介する活動が、「音楽の学びを振り返ろう」として示されている。 ・同世代の音楽活動など多様な興味関心を引き出し、好奇心に働きかけるような内容が取り上げられている。 ・自主的・補足的または発展的な学習を行うことができるよう、楽曲の解説や演奏の様子、旋律や伴奏等を確認できる二次元コードが示されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p>		

①教材の分量、配列及び内容、程度の配慮

- ・巻頭には、各界で活躍するかたからのメッセージや「音楽って何だろう？」が掲載されている。
- ・歌唱・創作・鑑賞教材の配分は適切で、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた資料やワークシートなどの配置が程よく掲載されている。領域ごとにまとめて配置されており、教科書後半には合唱曲等が配置されている。巻末には「音楽を形づくっている要素」がまとめて掲載されている。

②レイアウト（楽譜、写真、挿絵、説明文）等の工夫

- ・UDフォントの使用や色覚特性への配慮、SDGsに配慮した印刷方法、表紙には抗菌作用などの加工も施してある。
- ・歌唱曲や鑑賞教材においては、ページをまたがった楽譜の配置に活動を妨げない配慮がある。

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【美術】種目【美術】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
学年別の教科書番号	1年 009-72	2・3年 009-82	
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的な知識技能を活用し、表現する力、情報活用能力を育成するための工夫 各題材の構成が基本的に「鑑賞」「発想・構想」の順番になっており、学習の見通しをもって取り組めるようになっていいる。アーティストの作品を扱った「鑑賞」の部分で興味をもたせ、生徒作品を扱った「発想・構想」「知識・技能」の部分で生徒が安心感をもって学習できるよう工夫されている。</p> <p>②主体的に学習に取り組ませるための工夫 見開きのページに大きく一つの作品を載せるのではなく、多数の作品を掲載し、多くの作品に触れることができるようになっていいる。生徒作品には「作者のこことば」があり、生徒自身の主題が分かるようになっていいる。</p> <p>③日本の美術文化を尊重し、他教科との関連や国際社会への理解を深めるための工夫 カリキュラム・マネジメントの推進に役立つように、他教科との関連を意識した多様な映像資料がQRコードで提示されている。学習活動との関連で、題材とSDGsに関わる造形的な取り組みを数多く紹介し、世界的な課題にも目を向けられるよう配慮されている。</p>		
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①構成・配列及び分量 (1年72ページ、2・3年127ページ) 生徒作品や技法に関する資料の多くをQRコードから見られるようにして情報量を確保し、教科書は図や解説が見やすいように視覚的な工夫がされている。</p> <p>②使用上の便宜 QRコードからワークシートを画像でダウンロードすることができるようになっていいる。ワークシートには評価基準に即した内容の振り返りも設けられている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【美術】種目【美術】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	38	発行者の略称	光村
学年別の教科書番号	1年 038-72	2・3年 038-82	
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的な知識技能を活用し、表現する力、情報活用能力を育成するための工夫 各題材の構成が「鑑賞」に関する資料から始まっており、「表現」につながる問いが立てられている。「表現」に関する資料では造形的な視野を広げられる仕掛けがされており、QRコードコンテンツで様々な技法や用具に関する動画を参考にして、個別最適な方法で学習に取り組めるようになっている。</p> <p>②主体的に学習に取り組ませるための工夫 生徒作品には作者の言葉が紹介されており、発想に生かせるようになっている。日本の絵画が掲載されているページは紙の材質から日本をより実感的に理解できるようになっている。巻末の資料は構成や内容が充実しており、色彩や形などのヒントになる写真は生徒の興味を引く内容である。</p> <p>③日本の美術文化を尊重し、他教科との関連や国際社会への理解を深めるための工夫 SDGsや道徳教育との関連が各題材のページ下に示されている。他教科の学習と関連がある題材にはミニコラムを設定し生徒の関心を促している。防災教育との関連を持たせたデザインの作品や、多様な価値観をもった諸外国の作品が選定されている。</p>		
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①構成・配列及び分量 (1年69ページ、2・3年107ページ、別冊35ページ) 「美術1」「美術2・3」、別冊「資料」の三冊で構成されており、各巻のページの上部に別冊や巻末の資料との関連が示されている。</p> <p>②使用上の便宜 別冊「資料」は、技法や材料など基礎的な内容が集約されており、制作の補完的役割を担っている。色覚特性への配慮や、目標などの小さな文字はUDフォントを使用するなど、視認性や可読性を高める配慮がされている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【美術】種目【美術】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	116	発行者の略称	日文
学年別の教科書番号	1年	2・3年上	2・3年下
教科書番号	116-72	116-83	116-84
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的な知識技能を活用し、表現する力、情報活用能力を育成するための工夫 各題材でQRコード付きの「鑑賞の入り口」が導入として設定されており、「表現のヒント」「造形的な視点」の順で構成されているため、生徒が思考を深めながら見通しをもって取り組めるように配慮されている。学びを支える資料は、様々な技法や用具の活用方法が充実しており、個別最適な学習ができるように工夫されている。</p> <p>②主体的に学習に取り組ませるための工夫 身近な対象を扱う題材や、参考になる生徒作品が多く、掲載作品が生徒の興味を引き、制作の意欲を高めることができる。さらに題材ごとに学びの目標が示されていることで、生徒自身で目標を捉え、主題を生み出し表現できるようになっている。</p> <p>③日本の美術文化を尊重し、他教科との関連や国際社会への理解を深めるための工夫 社会問題や地域文化、美術以外の分野の著名人も取り上げることで、美術が社会や生活と深く関わりがあることを示し、多様な価値観や表現に触れられるようになっている。</p>		
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①構成・配列及び分量 (1年75ページ、2・3上65ページ、2・3下61ページ) 絵や彫刻、デザインや工芸、学びを支える資料の構成になっており、題材ごとに画家や作家の写真が見やすく掲載されている。三分冊構成で発達段階に合わせた題材に取り組めるようにしている。</p> <p>②使用上の便宜 項目ごとにしやすい文字の大きさやルビの配慮、色やフォントの工夫がなされている。「造形的な視点」や「表現のヒント」など、マークが分かりやすく示されている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【保健体育】種 目【保健体育】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称	東書
学年別の教科書番号	1 年 002-72	2 年 002-72	3 年 002-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎・基本の確実な定着を図るための内容の充実や工夫がなされ、自ら考え、判断し、表現する力を育む内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間の主な流れが「見つける」「課題の解決」「広げる」で示され、学習の進め方が明記されている。 ・わかりやすいイラストや写真を豊富に用いて解説されており、基礎・基本の知識の定着につなげられる工夫されている。 <p>②主体的に学習に取り組む態度を養う工夫がなされ、実生活の場面への活用や探究的な活動の内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見つける」を行った後に学習課題を明示する流れになっており、学習課題をより自分ごととして捉え、学習に取り組むように工夫されている。 ・「活用する」や「広げる」の活動が用意されており、実生活の場面への活用につなげながら、より深い学びにつながるよう設定されている。 ・各ページにインターネットを活用した学習ができる「D」マークやQRコンテンツが設けられ、主体的な学びを実現できるよう示されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①内容は系統的に構成されており、全体の分量及びその分配は指導上適切であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健編が前半、体育編が後半になるよう配列されており、保健編が全44項目、体育編は全9項目で構成されている。 ・基礎的・基本的な事項が本文にもれなく簡潔にまとめられている。 <p>②目次・索引・凡例・諸表、その他使用上の便宜についてよく考慮されており、出典なども必要に応じて示されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭絵や章末資料が用意されており、自分たちの生活とのつながりを考えやすくするように掲載されている。 ・巻末に「巻末スキルブック」があり、健康や安全に関する20のスキルが取り上げられている。 		

(様式)

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【保健体育】種 目【保健体育】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	4	発行者の略称	大日本
学年別の	1 年	2 年	3 年
教科書番号	702	702	702
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎・基本の確実な定着を図るための内容の充実や工夫がなされ、自ら考え、判断し、表現する力を育む内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キーワード」の部分で見開きごとに重要な語句がまとめられており、1単元で身につけなければならない語句が明確でわかりやすく示されている。 ・1単元ごとに「やってみよう」や「話し合ってみよう」が設定されており、主体的、対話的に学習に取り組む中で、思考力・判断力・表現力を伸ばすよう工夫されている。 <p>②主体的に学習に取り組む態度を養う工夫がなされ、実生活の場面への活用や探究的な活動の内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口絵でアスリートや中学生がスポーツで活躍している場面や、中学校生活の親しみの持てる場面の写真を多数掲載しており、生徒の興味、関心を引き出すよう工夫されている。 ・「やってみよう」「話し合ってみよう」「活用して広めよう」では、自分の健康や生活を振り返り、資料を参考に自分の課題について考えをまとめ、意見交換ができるように設定されている。 		
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①内容は系統的に構成されており、全体の分量及びその分配は指導上適切であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育編が前半、保健編が後半になるように配列され、体育編は全9項目、保健編は全40項目で構成されている。 ・資料や知識が過多にならないよう発達段階と学年に応じて精選されている。 <p>②目次・索引・凡例・諸表、その他使用上の便宜についてよく考慮されており、出典なども必要に応じて示されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次のページには索引しやすいよう必要な項目だけが提示されている。 ・1時間を見開きで構成し、本文と資料を左ページと右ページに分けて示しており、重要な本文部分や参照すべき資料が見やすく掲載されている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【保健体育】種 目【保健体育】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	50	発行者の略称	大修館
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	050-72	050-72	050-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎・基本の確実な定着を図るための内容の充実や工夫がなされ、自ら考え、判断し、表現する力を育む内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめ」では本時の学習内容を確認するだけでなく、項目課題が設けられており、自ら考え、判断し、表現する力を身につけることができるよう工夫されている。 ・毎時間の学習の最後にウェブクイズが用意されており、学んだ知識の確実な定着ができるよう設定されている。 <p>②主体的に学習に取り組む態度を養う工夫がなされ、実生活の場面への活用や探究的な活動の内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コラム」や「事例」で生活に関連した情報を提供する読み物を豊富に用意されており、学んだ知識を実生活に生かせるよう工夫されている。 ・「課題をつかむ」には、これまでの経験や学習を振り返ったり、経験を想起させたりする問いが記載され、導入が設定されている。 		
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①内容は系統的に構成されており、全体の分量及びその分配は指導上適切であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育編が前半、保健編が後半になるよう配列され、体育編は全9項目、保健編は全48項目で構成されている。 ・充実したデジタル教材が用意されている。 <p>②目次・索引・凡例・諸表、その他使用上の便宜についてよく考慮されており、出典なども必要に応じて示されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントの使用や、導入発問や資料は罫線で囲み、本分と区別しやすくするなど、読みやすいよう工夫されている。 ・「この教科書の使い方」や「保健体育の学び方」があり、学習をどのように進めればよいか示されている。 		

(様式)

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【保健体育】種 目【保健体育】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	224	発行者の略称	学研
学年別の教科書番号	1年 224-72	2年 224-72	3年 224-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎・基本の確実な定着を図るための内容の充実や工夫がなされ、自ら考え、判断し、表現する力を育む内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ウォームアップ」で課題の発見、「エクササイズ」で課題の解決、「学びを生かす」で学習内容の定着が図れるような流れで構成されている。 ・「実習」「もっと広げる深める」では、学習した知識を活用し、実践する実習が設定され、基礎、基本の定着がしやすいよう工夫されている。 <p>②主体的に学習に取り組む態度を養う工夫がなされ、実生活の場面への活用や探究的な活動の内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「探究しようよ!」というコーナーが章末に設けられ、学んだ内容からさらに発展的な内容が示され、「章のまとめ」の「生活への活用」では、学んだことを実生活にどのように活用するかについて記述する欄が設けられている。 ・「学びを生かす」では、学習したことを普段の生活に生かすことができるように具体的な内容を取り上げている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①内容は系統的に構成されており、全体の分量及びその分配は指導上適切であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育編が前半、保健編が後半になるように配列され、体育編は9項目、保健編は全36項目で構成されている。 ・鮮明なイラストや、本文を補足するような凡例や資料が豊富に掲載されており、学習意欲を引き出すよう工夫されている。 <p>②目次・索引・凡例・諸表、その他使用上の便宜についてよく考慮されており、出典なども必要に応じて示されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的にゆったりとした紙面でかつ、配色、表現・レイアウトは誰もが見やすく示されている。 ・巻頭に「さまざまな学習方法」を設け、学習内容や課題に応じて工夫しながら学習が進められるよう取り上げられている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【技術・家庭】種目【技術・家庭】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称	東書
学年別の教科書番号	1年 002-72	2年 002-72	3年 002-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の教科書では、技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みについて図などを多く掲載し、科学的な根拠に基づいて指導ができるよう配慮されている。 ・家庭科の教科書では、図の色の配慮や豊富な写真資料を取り入れることで、生徒が視覚的に理解しやすいように工夫されている。 ・多様な学習形態に対応できるようにQRコンテンツなどを用いて、基礎技能の習得ができるよう配慮されている。また、コンテンツ数が大幅に増加したことで、個別最適な学びができるよう工夫がされている。 <p>②主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭で自主的な学習が促される内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容ごとに「レッツスタート」→「学習課題」→「まとめよう」の流れが分かりやすく配列されている。また、学習の途中に「やってみよう」、「考えてみよう」、「調べてみよう」などの活動が多く設定されており、課題意識をもって自主的に授業へ取り組むことができる工夫がされている。 ・家庭科の教科書では各編の終わりに、「生活に生かそう」というページが掲載されており、既習の学習事項を生かし、新たに課題を設定することで、生徒の自主的な学びにつなげることができる工夫がされている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①内容は系統的に構成され、配列及び分量が指導上適切であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の教科書では「原理・法則」→「問題解決」→「評価・活用」という統一した流れで授業が展開できるよう工夫されている。 ・家庭科の教科書では学習の展開を考慮した配列になっており、3年間の学習を見渡し、カリキュラムの見通しをもつことができるよう工夫されている。 <p>②目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜についてどのように考慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の教科書では、ページを開いたときの見出しを左右で分けることで、学習内容が視覚的に意識できるよう配慮されている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【技術・家庭】種目【技術・家庭】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	6	発行者の略称	教図
学年別の教科書番号	1年 006-73	2年 006-73	3年 006-73
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコンテンツが豊富で、基礎技能動画を生徒自身がいつでも確認ができるよう工夫がされている。 ・学習内容ごとにキーワードが明示されているとともに、チェックができるようにしていることで、学びの定着を確認することができるよう工夫されている。 <p>②主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の導入場面において、各ページの先頭箇所に1コマ漫画を取り入れ、主体的な学びができるよう工夫されている。 ・各章末にある「センパイに聞こう」のページでは、学習した内容と社会とのつながりを意識させることで、生徒の主体的な学びを促すよう工夫されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①内容は系統的に構成され、配列及び分量が指導上適切であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各編とも【見つける・学ぶ・ふり返る】を基本の配列とし、学習が系統的に進められるよう工夫されている。 ・ガイダンスの内容が生徒目線に立った構成となっているため、今後の学習内容の見通しを立てやすい工夫がされている。 <p>②目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜についてどのように考慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の教科書では別冊でスキルアシストが準備されており、授業に役立つ工夫がされている。 ・家庭科の教科書では、SDGsマークを掲載しており、学習内容との関連性が分かるよう工夫されている。 ・印刷が色鮮やかであり、実習ページでは細かな部分まで鮮明に印刷されている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【技術・家庭】種目【技術・家庭】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
学年別の教科書番号	1年 009-72	2年 009-72	3年 009-72
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書に配置されたQRコードを読み取ることで、分かりやすく映像化し、実習に必要な基礎技能を確認できるよう工夫されている。 科学的な根拠に基づいた指導ができるようにするため、視覚的に確認ができる工夫がされている。 <p>②主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される内容が充実しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 適所に配置されている「実験」や「やってみよう」などの活動を通して、自己の学びを深め、主体的な学びができるよう工夫されている。 事例や実習例が多く掲載されており、生徒が意欲的に学習に取り組む工夫がされている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①内容は系統的に構成され、配列及び分量が指導上適切であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各編とも【学習目標・学習課題・内容・チェック】を基本の配列とし、学習が系統的に進められるよう工夫されている。 各内容の分量は指導計画に応じて活用ができるよう、偏りなく構成されている。 <p>②目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜についてどのように考慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習例が豊富に掲載されており、地域の実情や学校の実態に応じたものが教材として選択できるように工夫されている。 各ページ右上部に道具などの写真を紹介した爪見出しが掲載されている。 各ページの下部に豆知識が掲載されており、知識を深める工夫がされている。 		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 外国語 】種 目【英語】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称	東書
学年別の教科書番号	1 年 002-72	2 年 002-82	3 年 002-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1)内容の特徴・表現</p> <p>①主体的・自主的な学びを促す内容が充実しているか 単元ごとに「Your Turn」というコーナーがあり、自分のことについて記入ができる。これを活用すれば、習った文法項目を使いながら、自分ごととして考えを深めることができる。巻末には、「Small Talk」や「Expression List」やデジタルコンテンツの活用を促す掲載がある。</p> <p>②知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力を育む言語活動が充実しているか 1年生の教科書では、各項目の内容が小学校の既習事項の言語活動から始められるようになっている。各単元にUnit Activityという言語活動が設定されている。また、数単元に1つStage Activityという言語活動が設定されている。活動自体よりも、言語材料や表現の掲載量を増やして、生徒に活動させやすいように工夫されている。従来の教科書が踏襲されているところが多く、取り組みやすい。</p> <p>③国際社会の一員としての資質を身につけるために多種多様な題材が使用されているか 全学年を通して、未来を担う地球市民を育成することを目指した題材が取り上げられている。多様な文化や価値観への気づきを促す「ダイバーシティメモ」が設けられている。国際貢献、人権、SDGsなどを自分事として考える題材も豊富である。</p> <p>(2)構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①言語材料の配列について 小学校で慣れ親しんだ音声をスムーズに読み書きにつなげられるようにしている。日本語と異なる英語の語順について学び、巻末付録のカードを用いて練習もすることができる。There is/areと不定詞名詞的用法も1年で学ぶ。2年で不定詞の残りの2用法、It for toの形、感情の理由、疑問詞+不定詞、受身形も学習する。3年では現在完了のから始まり、経験・完了・継続の順で現在完了進行形につながる。</p> <p>②構成・配列及び分量、使用上の便宜等 目次には目的・場面・状況を意識した具体的な活動目標が明記されている。巻末には4技能5領域の目標が進度に合わせて示してあるCan-Doリストがある。帯活動用の「Small Talk」では各課で学んだことを日常会話で使う例として紹介してある。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 外国語 】種 目【英語】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
学年別の	1 年	2 年	3 年
教科書番号	009-72	009-82	009-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1)内容の特徴・表現</p> <p>①主体的・自主的な学びを促す内容が充実しているか 教科書内に、イメージマップのように情報や意見をまとめる箇所がある。これを活用すれば、自分ごととして考えを深めることができる。巻末には、「CAN-DO リスト」が掲載されている。</p> <p>②知識・技能を活用し思考力・判断力・表現力を育む言語活動が充実しているか 各単元では、簡単な導入を会話から入るようになっている。また、単元の最後に ACTION という言語活動が設定されている。さらに、いくつかの単元後に、Project という言語活動が設定されている。シンキングツールなどがふんだんに掲載されており、文章を作りやすく深めやすい作りになっている。内容や活動のレベルも発達段階に合っている。</p> <p>③国際社会の一員としての資質を身につけるために多種多様な題材が使用されているか 全学年を通して、地球市民としての豊かな感性を育むことを目指した題材が取り上げられている。SDGs のほぼすべての項目や、中学生にとって身近な日本文化、人権、エネルギー問題、職業観を育むものなど様々な題材がバランスよく取り上げられている。</p>		
	<p>(2)構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①言語材料の配列について 1年の学習は、小学校英語を用いた会話活動から始まり文字と音の学習を経て、レッスンの内容に入る。There is/areの学習も1年で行う。2年で受け身形を、目的語を2つもつmakeやcallは3年で習い間接疑問文も早い時期で学習する。</p> <p>②構成・配列及び分量、使用上の便宜等 本課数は、学年順に10、8、7である。目次にはSDGsのアイコンが示してある。各課の最初に「Scenes」というページがあり、その課で学ぶ言語が挿絵とともに2コマ漫画で説明されている。巻末には巻末資料の目次があり、すぐに検索ができる。辞書の使い方が掲載されている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 外国語 】種 目【英語】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	15	発行者の略称	三省堂
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	015-72	015-82	015-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1)内容の特徴・表現</p> <p>①主体的・自主的な学びを促す内容が充実しているか 単元ごとに「About Me」というコーナーがあり、自分のことについて記入ができる。これを活用すれば、習った文法項目を使いながら、自分ごととして考えを深めることができる。巻末には、「基本文のまとめ」がイラストや複数の動詞等の単語例とともに掲載されているので、多様な表現を考えやすい。</p> <p>②知識・技能を活用し思考力・判断力・表現力を育む言語活動が充実しているか 各単元にGoal Activityという活動が設定されている。2年生以降は、本文を読んで、自分の意見を紹介するという技能統合の活動が多くなり、単元を通して最終的な目標としての言語活動として掲載されている。数単元後にProjectという単元横断的な活動が設定されている。また、各単元にsmall talkの題材や問題の解決策が載っており、small talkを大切にしていることがうかがえる。</p> <p>③国際社会の一員としての資質を身につけるために多種多様な題材が使用されているか 全学年を通して、シンガポール、インドなど他国の文化に触れることのできる題材が多く取り入れられている。また、防災、環境問題、戦争と平和、公平についてなど様々なテーマの単元も設定されている。</p> <p>(2)構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①言語材料の配列について 小学校の既習事項を生かしたインタビュー活動が単なるQ&Aに終わらぬように、あいづち・つなぎ言葉・繰り返す・くわしく聞く(質問)・情報を加える(理由・根拠)などの表現を少しずつ紹介し、やりとりが続く工夫がある。1年で現在完了以外の時制を扱う。Want toや動名詞も扱うが2年で改めて学習する。2年最後の現在完了では経験、完了、継続と3年で学習する現在完了進行形につながる。</p> <p>②構成・配列及び分量、使用上の便宜等 巻末にはTake Actionのリスニング教材のAudio Scriptsが掲載されており、聞き取った内容を学習者が確認できる。資料として「いろいろな単語」で生徒の英作文に活用することができる。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 外国語 】種 目【英語】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	017-72	017-82	017-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1)内容の特徴・表現</p> <p>①主体的・自主的な学びを促す内容が充実しているか 表現の技能を高める活動の教材量は一般的である。巻末には、「重要構文復習リスト」が掲載されている。</p> <p>②知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力を育む言語活動が充実しているか 各単元にTaskという言語活動が設定されている。単元ごとの内容と強く関係があり、中には本文の内容を見返しながら取り組むような課題があり、単元を通して活動するというをかなり意識して構成されている。また、数単元に1つProjectという単元横断的な課題が設定されている。</p> <p>③国際社会の一員としての資質を身につけるために多種多様な題材が使用されているか 全学年を通して、日常生活から社会や将来へ考えを広げる題材が取り上げられている。SDGs、福祉、他の国の文化、職業や進路選択などについての単元も設定されている。また、好奇心を伸ばし、思考や共感の力を高めるための読み物教材も充実している。</p>		
	<p>(2)構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①言語材料の配列について 1年ではフォニックスも扱い、音から書く作業への移行がスムーズになるようにしている。疑問詞・助動詞も単元の中で丁寧に扱い、未来形・There is/areまで学習する。2年・3年は最初、前学年の復習から学習が始まる。不定詞は主な3つの用法に加え、疑問詞+不定詞、It for toや動詞+人+不定詞までを2年で学習する。3年で学習する文型は少なく最後の2単元では、話し合い活動を扱っている。</p> <p>②構成・配列及び分量、使用上の便宜等 目次にはSDGsのアイコンが示してあることに加えて「科学技術」のように、社会のどの分野と関連付けられた内容なのかが表記されている。また「比較級」などの文法用語が表記されている。巻末には巻末資料の目次があり、すぐに検索ができる。Can-Do自己チェックリストは4技能5領域の目標が他の学年の目標とともに掲載されており、比較することができる。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 外国語 】種 目【英語】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	38	発行者の略称	光村
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	038-72	038-82	038-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1)内容の特徴・表現</p> <p>①主体的・自主的な学びを促す内容が充実しているか 帯教材として扱える「Let's Talk」という小冊子が付いている。これを活用すれば、様々な項目を自分ごととして捉えて表現できる。また、「Active Words」や「英語の学び方ガイド」など巻末付録の内容が多様で充実している。</p> <p>②知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力を育む言語活動が充実しているか 各単元にGOALの言語活動が設定されており、その言語活動を行うために必要な言語材料が各単元に設定されている。言語活動は自己紹介(1年)、日記(2年)のような定番のものから、防災バッグの中身を考える(2年)、修学旅行の観光コースを考える(3年)、各種意見文(3年)など多彩である。</p> <p>③国際社会の一員としての資質を身につけるために多種多様な題材が使用されているか 全学年を通して、生徒の日常や実生活に即した単元(夏休みの計画、パーティー、修学旅行など)を多く扱っている。また、学びを社会生活や未来につなぐため「自分ごと」にできる題材や、読み物教材として「アイヌ文化」「杉原千畝」なども掲載されている。</p> <p>(2)構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①言語材料の配列について 1年の始めにある小学校での既習事項を使っの活動が充実しており、発音とつづりを結び付ける活動も丁寧に行われている。動名詞や不定詞名詞的用法も紹介されるが2年でも改めて学習する。加えて、不定詞の残りの2用法・It for to・感情の理由・動詞+人+不定詞と続く。受け身の学習も2年で行う。現在完了はすべて3年で学習する。2・3年の教科書の始めは前学年学習事項の復習から始まる。</p> <p>②構成・配列及び分量、使用上の便宜等 目次の「単元の目標」とする活動を表記する際に、4技能5領域のどれに関連づけた活動なのかを示すアイコンがある。巻末には話す力を育てる帯活動がある。また4技能の学び方の紹介ページが用意されている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【外国語】種目【英語】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	61	発行者の略称	啓林館
学年別の	1年	2年	3年
教科書番号	061-72	061-82	061-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1)内容の特徴・表現</p> <p>①主体的・自主的な学びを促す内容が充実しているか 表現の技能を高める活動の教材量は一般的である。巻末に、「基本文のまとめ」や「CAN-DO List」が掲載されている。</p> <p>②知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力を育む言語活動が充実しているか 各単元にThink&Writeというページで言語活動が設定されている。ページが3ステップほどに分かれており、スモールステップで活動を進めることができるようになっている。これまでの教科書と作りが似ており、シンプルである。</p> <p>③国際社会の一員としての資質を身につけるために多種多様な題材が使用されているか 全学年を通して、生徒の興味・関心をひきつける題材や、今日的課題についての題材など、日常的な話題から社会的な話題まで、多様な題材を扱っている。また、異文化理解、環境、キャリア、防災、平和、科学技術などSDGsと関連した題材を通して、自分ならどうするかを考えることのできるテーマが設定されている。</p> <p>(2)構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①言語材料の配列について 小学校での既習事項を使った活動と文字と音の確認から始まり、疑問詞についても単元で扱い、動名詞や不定詞名詞的用法、接続詞WhenやSVOOの文型も1年で学習する。2年は未来形、不定詞は残りの2用法からIt for to、感情の理由、疑問詞+不定詞、動詞+人+不定詞まですべてと受け身形を扱う構成とすることで、3年で扱う新文型は少ない。単元の間、既習の文型が含まれる歌が扱われている。</p> <p>②構成・配列及び分量、使用上の便宜等 目次には習得すべき言語の表記のみになっている。比較的分量の多い読み物を題材とする課が多くなっている。巻末にはListen&Thinkのリスニング教材のAudio Scriptsが掲載されており、聞き取った内容を学習者が確認できる。他学年で学習した基本文を確認できるページが用意されている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 道徳 】種 目【 道徳 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称	東書
学年別の	1 年	2 年	3 年
教科書番号	002-72	002-82	002-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 発達段階を踏まえて、小学校時の自分の考えと、現在の自分の考えを比べるこ とで、自身の成長を実感できるように、小学校道徳でよく扱われる題材が付録に 掲載されている。学年間連携題材があり、4人の登場人物が3年間かけて、ともに 成長するストーリーが設定されている。</p> <p>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面 的・多角的に考えることのできる教材内容の工夫 設問が、題材文について「考えよう」、自分について「見つめよう」、そのど ちらかについて「ぐっと深める」の3段階で構成されている。自分の思いや考え等 を自由にメモができる「つぶやき」が設けられている。</p> <p>③ 「言語活動」「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等 の多様な学習方法や学習形態等の工夫 学習と関連したテーマをさらに深化・拡充できるようコラム「Plus」が第1学年 16本、第2学年14本、第3学年18本と多数掲載されている。体験的な学習として 役割演技、問題解決的な学習として「p4c」(哲学対話)、ソーシャルスキルや様々 なジャンルのコラムを多数掲載している。自分の思いや考えを教科書に書き込め るようになっている。</p> <p>④ 我が国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等、現代的な課題に関 わる題材の取り上げ方の工夫 郷土の伝統・文化に関わる題材として、隅田川の花火と灯ろう流し、宮島彫り 等が取り上げられている。人物の題材として「津田梅子」「HIKAKIN」等が掲載 されている。読み継がれてきた定番の題材や、いじめ、情報モラル、SDGs、多様 性等を扱った題材も複数取り上げられている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等 教科書紙面の全題材にあるQRコードから、題材に関する映像、デジタル心情円 等にアクセスできる。35題材と4付録題材が取り上げられている。全学年、気持ち を可視化する「心情円」が折り込み頁に付されている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 道徳 】種 目【 道徳 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称	教出
学年別の教科書番号	1 年 017-72	2 年 017-82	3 年 017-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 複数の題材とコラムを組み合わせたユニットを設け、重層的に学びを深める設定がされている。2年・3年では、キャリア教育や社会参画をテーマにした題材が多く配列されている。学年間連携題材があり、3人の登場人物が3年間かけて、ともに成長するストーリーが設定されている。</p> <p>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材内容の工夫 題材初めには考えさせたいテーマに沿った発問が設けられている。題材末には、「学びの道しるべ」として3つの設問が示されている。</p> <p>③ 「言語活動」「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫 役割演技やリフレーミング等の活動に取り組むことができる「やってみよう」の頁が設けられている。答えが1つではない問いを考える問題解決的な学習が設定されている。いじめを扱うユニットでは、全学年にコミュニケーションスキルを学ぶコラムが付されている。</p> <p>④ 我が国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等、現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫 郷土の伝統・文化に関わる題材として、博多祇園山笠、歌舞伎等が取り上げられている。人物の題材として、藤井聡太や中川翔子等が掲載されている。読み継がれてきた定番の題材や、情報モラル、人権、多様性、SDGs等を扱った題材も複数取り上げられている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等 年間35時間分の題材として、30題材と5補充題材が取り上げられている。巻頭には、30題材と5補充題材が7つのテーマに分類して示されている。目次が項目別に色分けされている。巻末には、「よりよく生きる」ことについて考え、記入できるようになっている。教科書紙面の二次元コードから、題材解説、動画、ウェブツール等にアクセスできる。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 道徳 】種 目【 道徳 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	38	発行者の略称	光村
学年別の教科書番号	1 年 038-72	2 年 038-82	3 年 038-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 各題材の最初に題材名と共に内容項目のキーワードが示されている。発達段階を踏まえて、各学年最初のユニットに「中学生として」「上級生として」「最上級生として」自分に向き合える題材が設定されている。人権を扱う題材では、発達段階に合わせて学習できるように、三年間で系統立て取り上げられている。</p> <p>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材内容の工夫 ユニット名が問いになっている。題材末に、学習のテーマに関する問いが2つ設けられている。「見方を変えて」や「つなげよう」で深く考えたり、行動につなげたりできるような呼びかけが設定されている。前題材を、別の観点や活動で考えるよう促している「まなびをプラス」の題材が複数設けられている。</p> <p>③ 「言語活動」「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫 「やってみよう」では、対話しながら考えを深める活動、「チャレンジ」では、役割演技が設定されている。問いを立ててみんなで考える学習活動の手順を示した「チャレンジ 問いを立てよう」という頁が設定されている。巻末の「まなびの道具箱」では、考えを整理したり、話し合いを活性化したりするのに役立つ思考ツールが掲載されている。</p> <p>④ 我が国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等、現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫 47都道府県すべてに係る郷土資料が掲載されている。ヨシタケシンスケの題材や、東京スカイツリーの設計士「吉野茂」等が取り上げられている。いじめ問題、生命の尊さ、防災、キャリア教育等を扱った題材も複数取り上げられている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等 年間35時間分の題材として、34題材と5付録題材が取り上げられている。題材の最終頁には、他教科との関わりについて、巻末には、まなびの記録が示されている。教科書紙面のQRコードから、題材で取り上げている人物へのインタビューや補足資料等のコンテンツにアクセスできる。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 道徳 】種目【 道徳 】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	116	発行者の略称	日文
学年別の教科書番号	1年 116-72	2年 116-82	3年 116-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 発達段階を踏まえて、各テーマは学ぶ必然性が感じられる適切な時期に設定され、題材が配列されている。成長する自分の生き方を思い描けるよう、第1学年「自分とであう」第2学年「人との関係を見つめる」第3学年「よりよい人生をひらく」というテーマが設定されている。</p> <p>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材内容の工夫 題材末の「考えてみよう」と「自分にプラスワン」の二問が設けられている。「視野を広げて」では他教科・活動等をつなぎ、生き方について視野を広げるためのコラムがある。</p> <p>③ 「言語活動」「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫 各学年、6つの題材の後に「学びを深めよう」の頁があり、問題解決的な学習や役割演技等の体験的な学習の流れと資料が示されている。話し合いを深めるためのヒントとして、シンキングツールや手法、タブレット端末の活用等が多数掲載されている。</p> <p>④ 我が国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等、現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫 郷土の伝統・文化に関わる題材として、岩手県の法の脇鹿踊りや江戸切子等が取り上げられている。人物の題材として、漫画家「高橋陽一」やノーベル生理学・医学賞受賞「山中伸弥」等が取り上げられている。いじめ、多様性、SDGs等を扱った題材も複数取り上げられている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等 年間35時間分の題材として、35題材が取り上げられている。巻頭では、全学年を通して「道徳科での学びを始めよう！」という頁がある。視野を広げての頁では、他教科との関わりが示されている。学びの記録や振り返りのために、別冊で「道徳ノート」が付属している。全題材・全コラムに教科書QRコンテンツが付されている。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 道徳 】種目【 道徳 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	224	発行者の略称	学研
学年別の教科書番号	1年 224-72	2年 224-82	3年 224-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 情報モラルや多様性を扱う題材等では、発達段階を踏まえて、段階的・系統的 に展開がされている。1つのテーマを、内容項目が異なる複数の題材で連続して学 び、考えを深める学習であるユニット学習が取り入れられている。</p> <p>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面 的・多角的に考えることのできる教材内容の工夫 題材末に、自分の生き方に向き合うきっかけになる発問「考えよう」が2問設け られている。題材名の下に、授業へのスムーズな導入を促すキーフレーズが示さ れている。自分の考えを深め、広げるように「深めよう」の頁が複数設定されて いる。思ったことを自由に書き込めるスペースが教科書の随所に配置されてい る。題材に関連した資料が「クローズアップ」で多数掲載されている。</p> <p>③ 「言語活動」「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等 の多様な学習方法や学習形態等の工夫 「深めよう」では、話し合い活動や役割演技等具体的な提案が設定されてい る。より深く学ぶための4つのステップの具体的な例を提示している。</p> <p>④ 我が国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等、現代的な課題に関 わる題材の取り上げ方の工夫 郷土の伝統・文化に関わる題材として、白川郷の結、金閣寺の再建等が取り上 げられている。人物の題材として、津田梅子や植松努等が取り上げられている。 読み継がれてきた定番題材、いじめ防止、多様性、SDGs、キャリア等を扱った題 材も複数取り上げられている。47都道府県すべてにふれる郷土資料が掲載されて いる。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等 年間35時間分の題材として、35題材が取り上げられている。「道徳科で学ぶこ と 考えること」では、多様な学び方、思考ツールの使い方、ICT活用に関する紹 介の頁がある。巻末では、「未来への扉」として学びや未来の自分へのメッセー ジ等を記入できるよう付されている。教科書紙面の二次元コードから、動画、写真、 音声にアクセスできる。デジタル教科書がある。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 道徳 】種目【 道徳 】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	232	発行者の略称	あか図
学年別の教科書番号	1 年 232-72	2 年 232-82	3 年 232-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫「いじめ」「情報モラル」「キャリア」発達段階に合わせて「共に生きる社会」のユニットが設定され、3年間を通して、継続して学びを広げ、深められるような構造になっている。授業開きには、発達段階を踏まえたテーマが設定され、1年間の学びの指針になる内容になっている。</p> <p>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材内容の工夫 題材末に、授業で考えるポイントを提示し、「自分を見つめて考える」のか「いろいろな見方で考える」のかを示して、設問が設定されている。さらに、「考えを深める」と「自分との対話」の合計3つの設問が設定されている。学びを、深め、広げる「Thinking」というコラムの頁が各学年8～10本掲載されている。</p> <p>③ 「言語活動」「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫 役割演技や問題解決的な学習、体験的な活動等、多様な学習活動を促す「マイ・プラス」という頁が各学年3か所設置されている。「マイ・プラス」には対話を通してテーマを掘り下げる学習活動も提案されている。</p> <p>④ 我が国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等、現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫 47都道府県の資料が掲載されている。郷土の伝統・文化に関わる題材では姫路城等が取り上げられている。人物では、安藤百福、大谷翔平等が掲載されている。読み継がれてきた定番題材、「いじめ」を考える、情報モラル等を扱った題材も複数取り上げられている。一般書籍や記事等から選んだ題材も掲載されている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等 年間35時間分の題材として、35題材が取り上げられている。巻頭には、35題材が10のテーマに分類して示されている。巻末には、SDGs とふるさとについての資料が2つある。教科書紙面の二次元コードから、写真・動画・参考となる外部頁を見ることができる。</p>		

令和7年度使用中学校教科書研究報告書

教科【 道徳 】種目【 道徳 】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	233	発行者の略称	日科
学年別の教科書番号	1年 233-72	2年 233-82	3年 233-92
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 全学年、内容項目の番号順に題材が配列されている。第1学年「自分の思い」、第2学年「自分ができること」、第3学年「どんな自分になりたいか」のように、発達段階を踏まえた視点から探求するように設定されている。他の3つのカテゴリーも同様に設定されている。</p> <p>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材内容の工夫 題材末に、「考えよう」「深めよう」の2つの設問があり、その下に自由に記述できるメモ欄が設けられている。自分の考えを引き出したり、友達との意見交換がしやすくなったりできるように、「ウェルビーイングカード」の活用が掲載されている。</p> <p>③ 「言語活動」「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫 各内容項目のまとまりの最初には、題材のテーマに沿った4コマ漫画が掲載されている。多様な感じ方や考え方ができるよう、著名人の引用が付けられている。漫画や写真、グラフ等が多数掲載されている。</p> <p>④ 我が国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等、現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫 郷土の伝統・文化に関わる題材として、錦帯橋、茶道等が取り上げられている。人物の題材として、国枝慎吾やマララ・ユスフザイ等幅広い分野で掲載されている。情報モラルやいじめ、人権・福祉・ジェンダー等を扱った題材も複数取り上げられている。</p> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等 年間35時間分の題材として、34題材が取り上げられている。巻頭には、34題材が8つのテーマに分類して示されている。26枚のウェルビーイングカードとその使い方が示されている。教科書紙面のQRコードから、写真、年表、プロフィール等にアクセスできる。第2学年には題材がドラマ化された動画が1本付されている。</p>		